

地域協議会に関する意識調査

集 計 結 果

目 次

Q 1 地域協議会委員としての活動を振り返って	1
Q 2 地域課題の把握方法について	8
Q 3 議論の進め方等について	14
Q 4 議論の結果の地域への貢献について	22
Q 5 地域協議会委員の人材確保について	32
その他（自由記述）	44
【参考】地域協議会に関する意識調査調査票	資料 1

回答状況

対 象 者： 第4期地域協議会委員（任期：平成28年4月29日から令和2年4月28日まで）
※令和2年3月1日時点の委員数は、385人

回答者数： 313人

回 答 率： 81.3%

《本集計結果における留意事項》

- ・ 回答内容は、原則原文のまま記載していますが、回答者の特定につながる記載（所屬地域協議会名、地域の団体名等）、明らかな誤字脱字等について、一部修正している場合があります。
- ・ 回答者の年代は、令和2年3月1日時点の年齢で記載しています。
- ・ 回答者の所屬地域協議会は、「上越市市民の声アンケート報告書（平成30年5月）」で用いている4つの地域区分をもとに、次のとおり記載しています。

所屬する地域協議会	市民の声アンケート 地域区分	本調査 地域区分
高田区、直江津区	中心市街地	市街地等
新道区、金谷区、春日区、和田区、有田区	新興住宅地	
諏訪区、津有区、三郷区、高土区、八千浦区、保倉区、北諏訪区、柿崎区、大潟区、頸城区、板倉区、三和区	平野部	平野部
谷浜・桑取区、安塚区、浦川原区、大島区、牧区、吉川区、中郷区、清里区、名立区	中山間地域	中山間地域

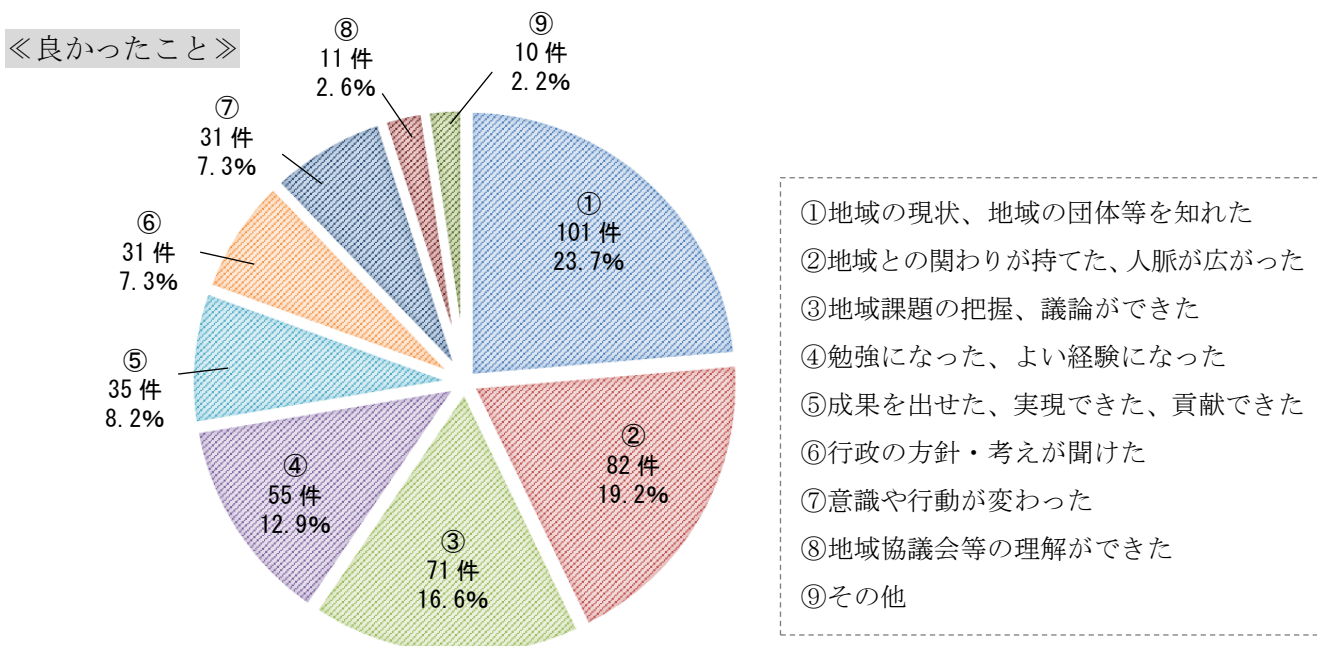
※ 本資料では、いただいた多くのご意見等について、設問ごとに回答内容の趣旨別等の整理を行い、それぞれの項目において、できるだけ内容の偏りが生じないように具体的なお意見等を掲載しました。

本資料に掲載していないご意見等の回答内容については、別冊の意見全件版に掲載しています。

Q1 地域協議会委員としての活動を振り返って

- (1) あなたが地域協議会の活動に参加し、あなた自身のことで良かったこと、悪かったことをご記入ください。

《良かったこと》



① 地域の現状、地域で活動する団体等、地域のことを知ることができた【101件】

- 地域活動支援事業の審査を通じて、区内の団体やその活動内容を知ることが出来たこと。(50代男性、中山間地域)
- 公民館活動や地区内で頑張っている団体がこんなにもあることを初めて知ることができました。(60代男性、平野部)
- 地域の実情に触れられたこと。地域の環境・歴史・風景の再認識ができたこと。(80代男性、中山間地域)
- 引っ越してきて30年位経っていたが、あまり地域を知らなかった。定年退職をしてから地域協議会に参加して地域を知る事が出来たこと。(60代男性、平野部)
- 会議の冒頭で月々の社会情勢、区内の出来事を詳細に説明して下さるので大変勉強になりました。(60代女性、中山間地域)

② 地域住民、地域の団体、委員等と関わりが持てた、人脈が広がった【82件】

- 委員各位並びに市職員の皆様と数々の議論や活動を通じ、見識を深められたことや人脈を広げることができたこと、さらには自身を成長させることができた。(60代男性、平野部)
- 今まで地域の人との交流がなかったのに、色々な町内会の人々との出会いがあり、考えの違う人、同じ人等々、勉強になったと思う。(70代男性、中山間地域)
- 色々な世代の人との交流で各世代間の考えの相違、何を求めているのかある程度理解できた。(70代男性、市街地等)
- 地元地域(住んでいる区)に対しての市の考え方を知る事ができた。協議会への参加者、地域活動へ取り組む方、市の職員の方など多くの方と知り合いになることができ、様々な知識と活動内容を知る事が出来た。(50代男性、市街地等)
- 地域の課題について、地域住民の方の話を聞いたり、地域協議会において話し合ったりする中で、自分自身も深く考えるようになった。活動を通して沢山の出会いがあった。(40代女性、中山間地域)

③ 地域の課題が把握できた、地域の課題について議論できた【71 件】

- 地域住民等との対話を通じて、区内にどのような問題点があるかというような事を少なからず理解を得られた。(70 代男性、平野部)
- 4 年間、今まで知らなかった住んでいる地域のことを教えてもらえて大いに役に立ったし、共通の課題として皆で議論できたことは効果と共に良い思い出でもある。(70 代男性、市街地等)
- 地域で課題となっている問題を把握することができた。他の委員と課題となっている問題を議論することができた。(60 代男性、平野部)

④ 勉強になった、よい経験になった、いろいろな考えを聞いた【55 件】

- 狭い地域の事を知っていると思っていたが、それぞれに特性があり、住人一人ひとり物事に対する考えが違う事を感じた。(70 代男性、中山間地域)
- 課題に対し、いろいろな意見があり、それぞれの考え方がおもしろい。(70 代男性、市街地等)
- 私が地域協議会委員に携わり 4 年間で振り返って他の委員の言葉の重さ、地域の事を深く考えた発言に感心した。また、相手の発言に対し、反対するのではなく、協議するという行動もあり、地域を良くしようと思っていることが伝わってきた協議会だと思う事です。(60 代男性、中山間地域)
- 視察研修で見識を広め、地域の課題解決の参考になった。(70 代男性、平野部)

⑤ 活動を通じて成果を出すことができた、実現することができた、貢献することができた【35 件】

- 地域の活性化に少し協力することができた。(70 代男性、中山間地域)
- 諮問事項について、内容を検討して意見が具申できた。地域の課題について、検討委員会に参加して意見書を提出することができた。(70 代男性、平野部)
- 今まで地域になかった活動の中心となる「まちづくり振興会」の設立に関わったこと。(70 代男性、平野部)

⑥ 行政の方針や考えを聞くことができた【31 件】

- それまで行政に対してはクレームを言うばかりだったが、今回地域協議会委員として中に入ってみて、行政の立場を従来以上に理解出来た。(50 代男性、市街地等)
- 日頃、あまり考えなかった上越市の現状について色々な方々の話を聞くことが出来たことです。(60 代女性、中山間地域)
- 上越市が取り組んでいる活動や問題点、その背景がよくわかった。(60 代男性、中山間地域)
- 行政の動き・システムを垣間見ることができた。感じた疑問を直接行政担当者に質問できた。(60 代男性、平野部)

⑦ 意識や行動が変わった【31 件】

- 回を増すごとに、今、住んでいる地域を何とかしたいという気持ちが高まった。(70 代男性、平野部)
- それぞれの団体の人たちが、地域の人たちまたは地域の事を考えて活性化しようと行動を起こそうとしていること。(70 代男性、平野部)
- 当区の実情がわかり地域活動支援事業に応募する団体や地域の意欲がわかり、ぜひ応援したいと考えた。(60 代女性、中山間地域)
- 改めて地域の課題や特性、地域で頑張っている諸団体などの活動を知ることができ、自分のできることや皆で考えていかなければならないことの意識を高めていくことができた。(60 代男性、平野部)

⑧ 地域協議会、地域活動支援事業を理解できた【11 件】

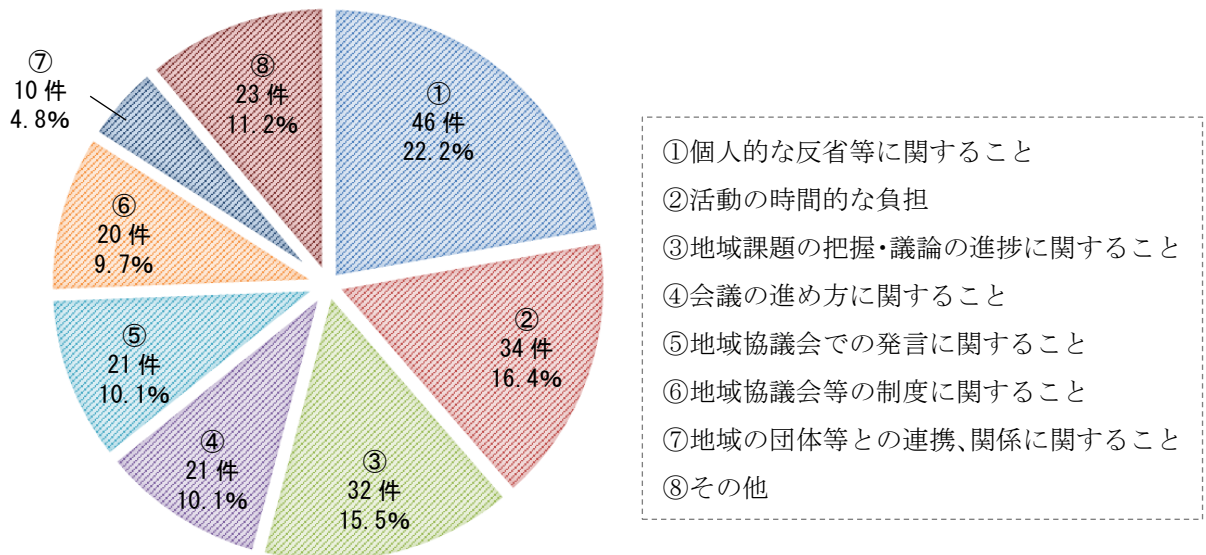
- 地域協議会の組織、役割等よくわからなかったが、参加させてもらい地域活性化には必要である事が認識出来た。(70 代男性、市街地等)

- 地域の活動が地域活動支援事業に支えられている事が理解できた。(70 代男性、平野部)

⑨ その他【10 件】

- 女性の立場ではなかなか機会がなかったが、公募制もありチャンスができた。(70 代女性、市街地等)
- 住んでいる区を良くしたいと思う委員ばかりで良かった。(60 代男性、中山間地域)

《悪かったこと》



① 個人的な反省等に関する事【46 件】

- 認識不足で会議の内容を知るための時間が掛かった。(70 代男性、市街地等)
- 最初の頃は一生懸命だったのが、4 年目となるとマンネリ化してしまったように感じる。(60 代男性、平野部)
- 他の委員の責任感が少なすぎるという見方をしていたが、自分中心的になりがちな点が悪かったと反省している。(70 代男性、平野部)
- 前向きに取り組む姿勢が無かったこと。(60 代女性、中山間地域)

② 活動における時間的な負担があった【34 件】

- 夕方からの会議なので、時間的に苦勞した。視察・研修等も日程調整等で苦勞した。(60 代男性、中山間地域)
- 仕事の関係もあり毎回参加が出来なかった。(50 代女性、市街地等)
- 研修や視察などが秋に集中するのですが、本業も秋は多忙期であり、負担に感じました。(50 代男性、中山間地域)

③ 地域課題の把握・議論の進捗に関する事【32 件】

- 地元の問題点がなかなか具体的に把握できなかった事。(50 代女性、市街地等)
- 活動結果が見えなかった。(60 代女性、中山間地域)
- 地域協議会委員になったが貢献出来たか疑問に思えること。(60 代男性、平野部)
- 自主的審議事項は各委員の生活環境の違いから温度差があり、具体的にとりまとめる事ができず継続審議になった事。(60 代男性、中山間地域)

④ 会議の進め方に関する事【21 件】

- 会議において声の大きい人の意見、話し方の下手な人の意見で、声の大きい方に流れて残念だった。(70 代男性、市街地等)
- 時間の制約等もあり、議論が深まらない場面もあった。(70 代男性、平野部)
- 委員間の議論が少なかった。(70 代男性、平野部)

- 委員同士の交流が少なく、お互いの信頼関係が築けなかったと思う。(70代男性、市街地等)

⑤ 地域協議会での発言に関すること【21件】

- 自分の意見と違っていても反論しなかった事。(70代男性、市街地等)
- 協議会に参加してもなかなか発言できなかったこと。(60代男性、平野部)

⑥ 地域協議会の制度（報酬・任期・研修等）、地域活動支援事業に関すること【20件】

- 行政の承認機関でしかないのかなという思いが頭をもたげること。(70代男性、平野部)
- 自分の関わりの有る団体の地域活動支援事業の申請がしにくい(60代男性、平野部)
- 協議活動では、有りません。ただ、無報酬という事での委員のあり方も共感出来ますが、思ったより年間の費用がかかると思います。せめて1回1,200円ではなく、5,000円が妥当だと思います。(60代男性、中山間地域)
- 地域協議会委員の活動期間(4年間)が長く感じた。(60代男性、平野部)

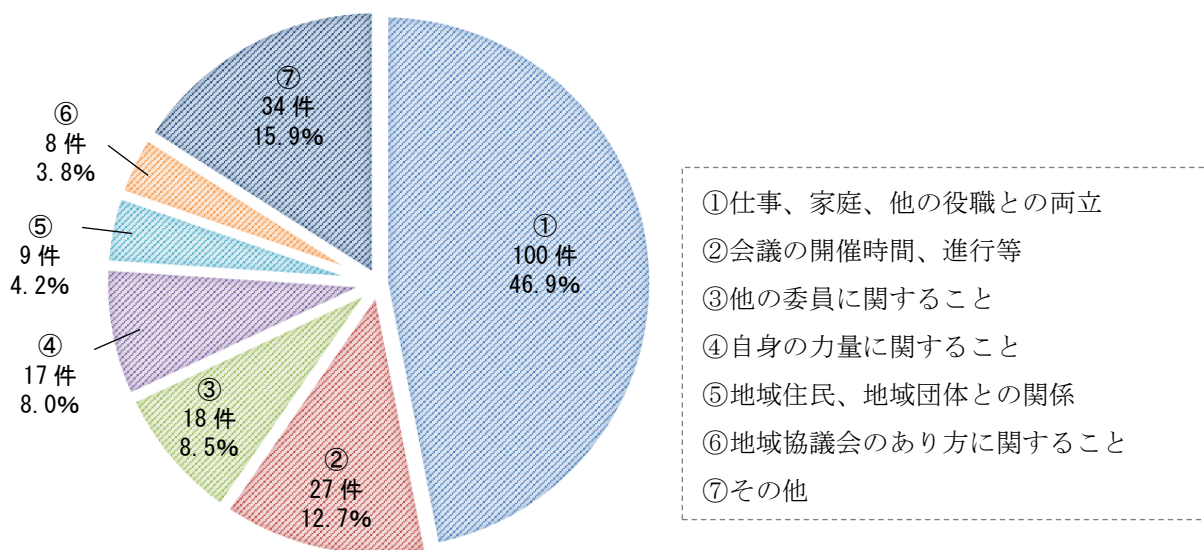
⑦ 地域の団体等との連携、関係に関すること【10件】

- 地区の活動と地域協議会との交流が無かったと思う。(70代女性、平野部)

⑧ その他【23件】

- 地域の皆さんが協議会の必要性を感じていない。(70代男性、市街地等)
- 活動の雰囲気になじめなかった。(60代男性、平野部)
- 上越市はすでに決まったことを持ってくる。もう少し話し合いの場があってもよいのではないか。(70代男性、平野部)
- 地域協議会が意見を提出した件について。市当局の返答・説明が官僚的なものが多く、市民の意見を工夫して行政に活かそうとする意欲が見られなかった。(70代男性、市街地等)

- (2)① あなたが地域協議会の活動に参加する上で、これまで支障となったことをご記入ください。
② その支障となったことをどのように解消・工夫して委員の活動に取り組んでできましたか。



① 仕事、家庭、他の役職との両立【100件】

- 仕事とその他の役職の会議等が多すぎた。(50代男性、平野部)
- ボランティア団体活動との両立で時間的制約が大きい。(70代男性、平野部)
- 仕事と家庭と活動のバランス(会議日以外の活動ができない)(50代女性、中山間地域)
- 企業に勤めながらの活動だったので、仕事優先とならざるを得なかったこと。(50代男性、平野部)
- 会議への参加はさほどではなかったが、日中の活動は仕事の関係であまり参加出来なかった。(60代男性、平野部)

《解消策・工夫したこと》

- 仕事最優先だが、なるべくやりくりして参加した会議もあった。(50 代男性、平野部)
- 有給休暇を取得したり、フレックス勤務制度を利用したりした。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会の会議を優先的にしていただくように職場を含め、他の関係者の皆さんに理解してもらった。(60 代男性、平野部)
- 解消・工夫はしていない。できない。対応策として、会議・視察研修等の議事録や研修記録等を作成し 1 週間以内に観閲できる仕組みがほしい。(欠席者が確認できる様に)(60 代男性、平野部)
- 家族に協力してもらった。(50 代女性、市街地等)

② 会議の開催時間、進行等に関すること【27 件】

- 地域協議会の開催時間、18 時開催ばかりでは都合が悪かった。隔月で 14 時開催があると良いと思った。(50 代女性、平野部)
- 会議の終了時間（時々午後 10 時すぎということもあり）に対する視点が乏しいこと。(70 代女性、市街地等)
- 開催日時が様々で、日程の腹積もりが定期的に出来にくい面があった。(70 代男性、平野部)

《解消策・工夫したこと》

- 時間が長引く場合、発言を控えた。(60 代男性、市街地等)
- 常に我慢して参加した。(60 代男性、平野部)

③ 他の委員に関すること【18 件】

- 一人の強い意見（言葉）により、健全な意見交換がなされなかった。(70 代女性、平野部)
- 先輩委員が大多数でしかも町内会長歴任者の多いことにびっくりした。(60 代男性、平野部)
- 定員に達しなく、市長推薦であがってきた委員のなかで「たのまれている」発言が随所にあった。(70 代男性、中山間地域)

《解消策・工夫したこと》

- 他の委員も自己主張の強い意見には反対してくれた。(70 代男性、中山間地域)
- 適切な意見交換、議論の場になるよう望んだができなかった。(60 代男性、中山間地域)

④ 自身の力量に関すること【17 件】

- 専門用語が多く、初めの 1 年目は何も意味が分からなかった。(70 代女性、市街地等)
- 地域の事や制度的な事をよく知らず会議についていけなかった。(50 代男性、平野部)

《解消策・工夫したこと》

- 事前学習をしてと考えていましたが、当日配布資料が多くできませんでした。(50 代男性、平野部)
- 担当者の説明を聞いたり現場に接するようにした。(70 代男性、市街地等)
- 先輩の方々に尋ね、教えていただいた。(70 代女性、市街地等)

⑤ 地域住民、地域団体との関係【9 件】

- 地域住民との意見交換会（懇談会）を開催するにあたり、住民の参加において、十分な理解が得にくかったこと。(70 代男性、平野部)
- 町内会長、町内会長連絡協議会の会長として、各地区の要望事項など事前に把握しておかないと、各地区のバランスが悪くなり不平不満を言われること。(70 代男性、市街地等)

《解消策・工夫したこと》

- 町内会長、公民館運営委員、老人クラブ会員やまちづくり団体に声かけを行い、参加を要請した。(70 代男性、平野部)

⑥ 地域協議会のあり方に関すること【8 件】

- 地域では、地域協議会の認識がない。地域協議会を軽視している。(70 代男性、平野部)
- 地域協議会の存在そのものの必要性に疑問を感じていたこと。(70 代男性、市街地等)

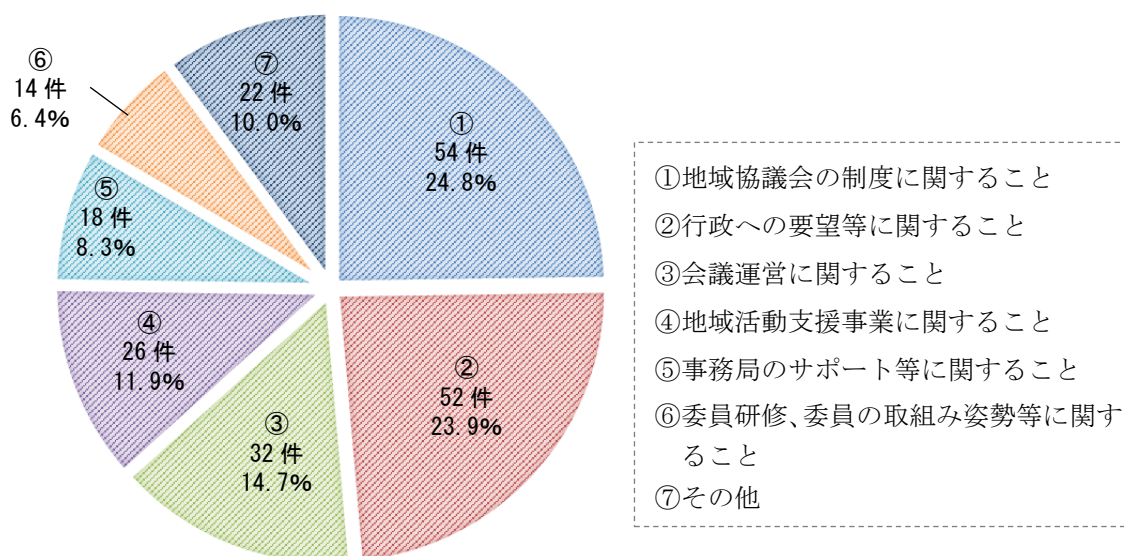
《解消策・工夫したこと》

- 実施されている内容を相手に説明し、活動内容を伝えることにより、理解してもらえようように働きかけを実施した。(50 代男性、市街地等)

⑦ その他【34 件】

- 会場が遠すぎる。冬は雪が多く降るので心配。(60 代男性、中山間地域)
- 委員は、仕事を持っている方が多いので、協議会に必要な資料は出来るだけ分かりやすくお願いしたい。(60 代男性、中山間地域)
- 委員の意見は当然それぞれであるし、一つの方角にまとめたり向いたりしてもらうには、議長（会長）の裁量が大変だった。よって会議も当初は毎回長くかかってしまい、委員から苦情が出るほどだった。結果を採決で決める会議は地域協議会では仕方のないことか？(70 代男性、市街地等)
- 時間を費やす割に見合った報酬ではないこと。報酬が大きければ良いということではないが、全て無償（に近い）のボランティアでは人材が集まらない。(60 代男性、平野部)

◇ これまでの設問のほか、地域協議会委員としての活動を振り返って市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。



① 地域協議会の制度に関する事【54 件】

- 合併時の旧町村の要望（不公平感）リスクの解消の当会であり 16 年経過し、その目的は達成したと思われる。特に諮問は不要、反映できない。議員、町内会長、パブリックコメント等に絞り、スリム化。(60 代男性、市街地等)
- 地域協議会委員になりたくない理由の一つとして費用弁償だけでは少な過ぎるからだと考えています。ボランティアであれば何故準公選法の適用を受けるのか？最初からの成り立ちでそうなっているとすれば改革してもよいのではないかと。(70 代男性、平野部)
- 諮問等、制度（？）上、地域協議会が単なる通過儀礼機関になっているのではないかと。(70 代男性、市街地等)
- 提案内容が地域に限定しているため、地域をまたいだ連携が必要な案件については調整が難しい。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会のおかげで地域がまとまり活発になった。この制度を今後も続けてもらいたい。(70 代男性、平野部)

② 行政への要望等に関する事【52 件】

- 委員は行政には素人同然であり、根拠となる考え方を明示して、市民感情と目線を大切にし

て欲しい。(70代男性、中山間地域)

- 地域の課題に対し、市が取り組む場合、協議会とともに活動しても良いのでは。(70代男性、市街地等)
- 事務事業等について事前説明にはもっと早く趣旨・目的等分かり易く説明して欲しかった。(70代男性、平野部)
- 市の結論ありきで諮問を協議会にかけけるのではなく、委員の意見を聞いてから市の案を作り諮問にかけてもらいたい。(70代男性、平野部)

③ 会議運営に関すること【32件】

- 他の地域協議会委員の人達との意見交換会などがあればよい。(40代男性、平野部)
- 月1回の定例協議会だけでは取り組むテーマの解消が出来ない。毎年、地域活動支援事業の説明会・審査等で3ヶ月分位の経過で残りの開催数(時間)が少ない。(70代男性、平野部)
- 途中から委員会の時間が第3火曜日午後6時に固定され参加しやすかった。仕事を持つ人も参加しやすい工夫は大切だと思う。(60代女性、平野部)
- 各協議会の自主性を尊重していただけるのはありがたいのですが、協議内容と方向性に幅がありすぎて戸惑いを覚える事が多々あります。特に地域活動支援事業の審査については協議会により基準が異なる部分が大きいに思います。(60代男性、中山間地域)
- 地域協議会の会議、活動が市の担当の主導になって、課題を消化していることになっている。地域が主導し市に申し入れるような活動にする工夫が必要では。今のままでは協議会の必要性が感じられない。(60代男性、平野部)

④ 地域活動支援事業に関すること【26件】

- 就任早々に「地域活動支援事業」の採択があることから、委員(新任に限り)への十分な初期教育をそれらの活動が始まる前をお願いしたい。(60代男性、平野部)
- 地域活動支援事業についての見直しをする時期にきているのではないかと思います。事業が果たしてまちの活性化につながっているのか疑問に思える事業が多い。(60代男性、市街地等)
- 地域活動支援事業補助金は地域の活性化の為に必要と思うので続けて頂きたい。(60代女性、平野部)

⑤ 事務局のサポート等に関すること【18件】

- 自治・地域振興課が各協議会に出向き課題や問題点等を把握するように活動すべきである。(4年間で1回位は担当課と意見交換はしたいと思います。)(60代男性、中山間地域)
- 町内会、団体との意見交換の場を市として積極的に関わってもらいたい。町内会長との意見交換で、同じ問題が十何年間堂々巡りをしていると感じていて問題解決に向けて、市が交通整理なり方向性の指導をしてほしい。(70代男性、市街地等)
- 会議議事録が上越市ホームページに記載されるがアップデートされるのが遅い。会議は毎月開催されるが次月の開催までにはアップデートされるべきである。(60代男性、平野部)

⑥ 委員研修、委員の取組み姿勢等に関すること【14件】

- 色々な委員の方がいらっしゃいますが、私のように資質(経験等)が足りない委員もいるので、レベルアップの出来る機会(勉強会)があれば参加したいと思います。(60代女性、平野部)
- 地域協議会委員の人よりも市の職員の方が仕事の為一生懸命だから、委員の方が薄れています。委員が一生懸命にならないければ何の解決にも繋がらないと思います。(60代男性、中山間地域)

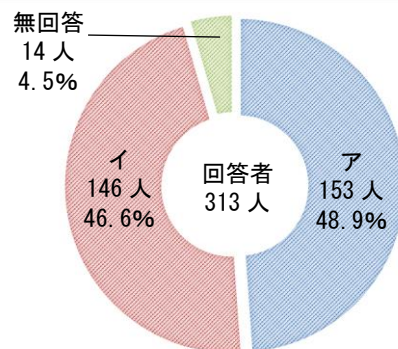
⑦ その他【22件】

- 女性の委員はあまり必要とされない。(60代女性、市街地等)
- 地域協議会のことを、多くの市民に知っていただいて、興味を持ってもらえるようにして、もう少しわかりやすく、簡単に市民に知らせるようにしてほしいです。(50代女性、市街地等)
- 地域の課題であるので、市議会議員等の参加の機会をもっと増やしてほしい。(70代男性、市街地等)

Q2 地域課題の把握方法について

(1) あなた自身が、住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握するために、何か取り組んでいることはありますか。

ア 取り組んでいることはある	153 (48.9%)
イ 取り組んでいることはない	146 (46.6%)



(1)(a) 回答で「(ア) 取り組んでいることはある」とお答えいただいた方は、どのような取り組みをしているか教えてください。

① 町内行事、各種イベント、講座等への参加、実施【51件】

- 地域で活動している各種団体のイベント等には出来るだけ参加し、開催団体役員と自分から進んで話をするようにして現状での問題点やこれからやりたい事等を聞くようにしている。要望を聞くのでは無く何をどうしたいのか等の具体案を聞き出すよう心がけている。(60代男性、平野部)
- 居住している地域のイベントには、積極的に参加し、主にイベントスタッフと話をする中で、把握する様にした。(年4~5回、特に若い方や女性の方と)(50代女性、中山間地域)

② 日常生活、日常の活動の中で聞き取り【43件】

- 区内の住民が生活していく上で困っている事がないか、会うたびに聞き取り、自分でできることは実施し行動してきました。(60代男性、中山間地域)
- 日頃から地域の皆さんとの雑談の中から課題等を把握している。(70代男性、市街地等)

③ 町内会、活動団体等に所属【28件】

- 地域活動団体の一員として活動に参加して現場を体験しながら会員とのコミュニケーションを図る中で課題や困りごとを把握している。(60代男性、平野部)
- まちづくりの団体に所属、月1回の定例会で課題の掘り起こし等を話し合っている。(70代男性、市街地等)

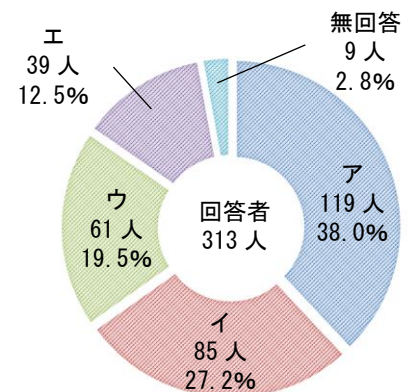
④ 地域団体との交流、意見交換、懇談会への参加【19件】

- 町内会、敬老会、青年会、子供育成会などの町内諸団体との交流(70代男性、市街地等)
- まちづくり振興会や各地区の連絡協議会に出向き話し合いを行った。(70代男性、平野部)

⑤ その他【31件】

(2) あなたが属する地域協議会について、住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握する機能を果たせていたと感じますか。

ア 地域課題を把握し、議論に反映することができていた	119 (38.0%)
イ 地域課題を把握したが、議論に反映することはあまりできなかった	85 (27.2%)
ウ 地域課題を把握することがあまりできなかった	61 (19.5%)
エ よく分からない	39 (12.5%)



(2) (a) 回答で「(イ) 地域課題を把握したが、議論に反映することはあまりできなかった」とお答えいただいた方は、議論に反映するためにどのような工夫が必要とお考えですか。

① 委員同士の話し合い、委員の共通認識【32 件】

- 限られた時間の中では仕方ないと思うが、問題ごとに委員を分けてもう少し踏み込んだ話の出来る機会が欲しかった。(60 代女性、平野部)
- 委員全員が地域課題に対してまず共通認識を持つことが大前提である。一部の人だけの認識では前進しない。(60 代男性、中山間地域)
- 今期の前半は地域要望に固執する委員が多い様に感じた。地域協議会の「役割」を委員全体が共有した上で初めて議論ができると思う。(50 代女性、中山間地域)
- 地域協議会でいくつかのプロジェクトチームを作って、それぞれの活動を推進していく。そのうえで、全体協議する場も設ける。(60 代男性、平野部)

② 地域住民・団体との話し合い、地域との情報共有【19 件】

- 地域の人達との連携不足。問題を共有できていない。(70 代男性、市街地等)
- 課題を把握し、話し合いや視察等も実施するが、その先の解決するための仕組みづくり又は仕組みづくりのための支援までは協議会としてできていない。委員としては、ネットワーク体制や協働の中核を狙っているという意識はあるが、どうしても独りよがりになっているのではと感じる場面もある。一歩すすめるには、他団体との良好な連携が必要だと考える。(50 代女性、中山間地域)

③ 課題を絞る、精査する【17 件】

- 毎年議論していますが課題が多くなかなか結論が出ないので、課題を絞って議論する必要があると思う。(60 代男性、市街地等)
- 地域課題を人口減少、空き家対策等、問題が大きすぎて具体的内容の話し合いが出来なかった。(60 代男性、中山間地域)
- 地域課題と一口に言ってもそれぞれの思いが交差していて、まずは、地域の各団体と話し合いして課題の実現性を優先し順位をつける必要性を感じている。(70 代男性、市街地等)

④ その他【23 件】

- 課題解決の担い手、即ち誰が中心になって取り組むかで常に座礁し、議論が深化しない。(70 代男性、市街地等)
- 少子高齢化等の大きな課題は地域協議会レベルでは解決できない。行政と一緒に考えるべきものと感じた。(60 代男性、平野部)
- 市役所外の専門家の意見を聴く機会を作っていないと堂々巡りになり、解決どころかその糸口さえ見つけられないことが多かった。有識者の意見を聴くべきだと感じる。(60 代男性、平野部)

(2) (b) 回答で「(ウ) 地域課題を把握することがあまりできなかった」とお答えいただいた方は、地域課題を把握するためにどのような工夫が必要とお考えですか。

① 住民からの意見集約【18 件】

- 地域協議会委員が積極的に動くことが必要と思う。ただ、「課題を探す」という言葉に惑わされず、自然な形のお茶飲み話での情報収集が良いと考える。(70 代女性、市街地等)
- 様々な世代と意見交換をするために、Facebook などの SNS で情報発信できる体制の構築 (50 代女性、平野部)
- 地域の声をすくい取る機会を設けてはいるが、なかなか積極的な意見が上がってこない。もっと小規模な会を設けてお茶飲み話のような雰囲気の中で本音が出てくるような場の設定が必要なのでは。(60 代女性、中山間地域)
- 今の時代、SNS を活用して若い世代からの意見を沢山抽出するべき。(50 代男性、平野部)

② 地域団体等との意見交換、交流【17 件】

- 各団体や小・中学校の生徒たちと課題を共有する事も必要かと思う。(70 代男性、中山間地域)
- 町内会や団体等とのコミュニケーションを図ること。(町内会や団体等の課題点が重複している時もある。)(40 代男性、市街地等)

③ 地域活動への参画、参加【7 件】

- 地域の懇談に協議会委員も参加する。各団体の事業等に参画する。(50 代女性、市街地等)
- 地域の集会等で話す機会を作って積極的に参加する事が必要と思いました。(60 代男性、平野部)

④ 地域のことを知る【5 件】

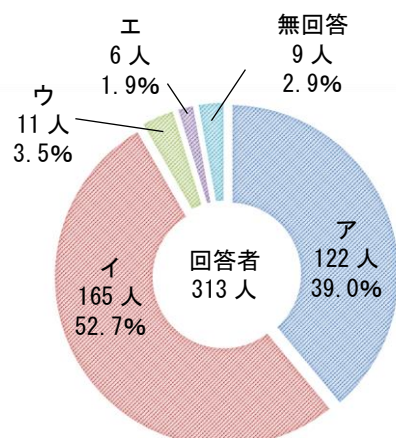
- 会議に出るだけで実際に現場を確認するなどできなかった。(50 代女性、市街地等)
- 会議だけでは難しいと思う。他地区を知る事も課題を見つけるチャンスにならないか。(60 代男性、平野部)

⑤ その他【19 件】

- 日常的に様々な団体との交流がありますが、地域協議会に提示するような大きな課題はすでに提出済か却下されているものがあると考えています。日常的な小さな課題は町内会長会に任せて地域全体の課題は？と考えると中々把握できません。(60 代男性、中山間地域)
- 4 年間で地域の問題を話し合う機会がほとんどなかった。問題を上げづらい雰囲気があった。(80 代男性、市街地等)

(3) あなたが属する地域協議会について、住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握するために、地域の団体※と定期的に話し合う機会を設けることについて、どのようにお考えですか。 ※ 地域の団体：まちづくり団体や町内会、ボランティア(的な)団体など

ア 定期的に設けた方がよい	122 (39.0%)
イ 地域協議会で自主的審議事項のテーマを検討するためなど、地域協議会が必要とするタイミングで行うことがよい	165 (52.7%)
ウ 話し合う機会を設ける必要はない	11 (3.5%)
エ その他	6 (1.9%)



《選択肢アの理由》

① 地域内の課題把握、情報共有につながるため【65 件】

- 地域の問題を提起している団体との話し合いや地域協議会委員同士で問題を共有できる。特に、町内会長連絡協議会と話し合う機会を設けることは必要だと考える。この点では、町内会長自身にも地域課題を認識してもらう機会にもなると考える。地元の NPO 団体と話し合う機会を設けることも必要。(70 代女性、中山間地域)
- 実態の把握には経年変化から伺い知る方が良いから。(70 代男性、市街地等)
- 定期的に開催を実施することで、小さな問題であってもその重要性を見落としがちにならないようにするべきだと思うから。(70 代男性、平野部)
- 課題は、旬であるためテーマを 1 年間検討することも意義は大変あるが、その時その時の困りごと、不安を見つけやすいから。(60 代男性、中山間地域)

② 実施方法や取組実績に関するもの【18 件】

- 地域協議会が設定した話し合いの場では人数もあまり集まらず参加するメンバーも自発的に参加しているとは言いがたい。定期的にとはいえずとも知れないが設定の仕方を考えなければならないと思う。(60 代女性、中山間地域)
- 団体に限定せず個人としての意見を聞くような機会を作った方がよいと思います。(70 代男性、平野部)
- 2 年前から年 1 回出前地域協議会を開き、住民との意見交換を行っている。(80 代男性、中山間地域)

③ 地域団体との連携のため【17 件】

- 地域課題の把握時のみではなく定期的に情報交換し関係を築いていた方がよいと考えます。(50 代男性、平野部)
- 安全安心豊かな地域づくりには各団体との連携がとても重要であり、それぞれの団体の課題を全体の課題取り組みとしてとらえ、活動していく必要があると考える。(60 代男性、平野部)

④ その他【24 件】

- 「住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握するために、地域の団体と定期的に話し合う」ことが本来の地域協議会の役割であると思うから。(50 代女性、市街地等)
- 住民が感じている事、疑問を聞き解決できる方向にもっていくのが地域協議会であると思うから。(60 代男性、中山間地域)
- 地域協議会の存在のアピールでもあり、地域内の団体を理解する上で必要であると思う。(60 代男性、市街地等)

《選択肢イの理由》

① 効果に疑問があるため【35 件】

- 定期的に色々な方や団体との話し合いを実施することも大切であるが、問題点の把握と共に陳情意見が中心となってしまうことも少なくない。又、問題点が多く上がる一方、その全てを議論することは難しいと思われる。まずは協議会委員が問題点を整理し、その議論に必要な意見把握の為の意見交換会を実施する方が効率的・議論を深める面においても良いと思う。(50 代男性、市街地等)
- 地域協議会や地域の団体はそれぞれ設置目的や役割があることから、まずは地域協議会も含め、個々の団体等が自らの設置目的に沿った地域課題の把握に努めるとともに、そこから具体的な取り組みを行うとの意識が必要であり、“闇雲に”や“形だけ”の話し合いの場の設定は無意味である。(60 代男性、中山間地域)

② 地域協議会での検討に沿った議論を行うため【25 件】

- 地域協議会の中で問題点を煮詰めて、それに対してどのような考えか意見を聞くという形の方が話が出やすいのではないかと思います。(60 代女性、平野部)

- 地域には多くの団体があり、定期的に話し合う機会を設けても個々の団体と開催する機会が少なく、具体的に課題を絞り込まないと議論が進まない。自主的審議事項のテーマを設定したのち、関係団体を絞り、話し合いの場を設けるのには意味がある。(60 代男性、平野部)

③ 地域内の課題把握、情報共有につながるため【24 件】

④ 実施方法や取組実績に関するもの【22 件】

- 団体だけを重視する考え方は止めた方が良い。一番必要なことは地域の住民の皆さんの意見を聞くことです。団体はその中のひとつです。(70 代男性、市街地等)

⑤ 地域団体、地域協議会委員の負担となるため【16 件】

- 定期的だと地域の団体の負担になるし、全くなしでは地域の課題を把握できないので。(40 代男性、中山間地域)

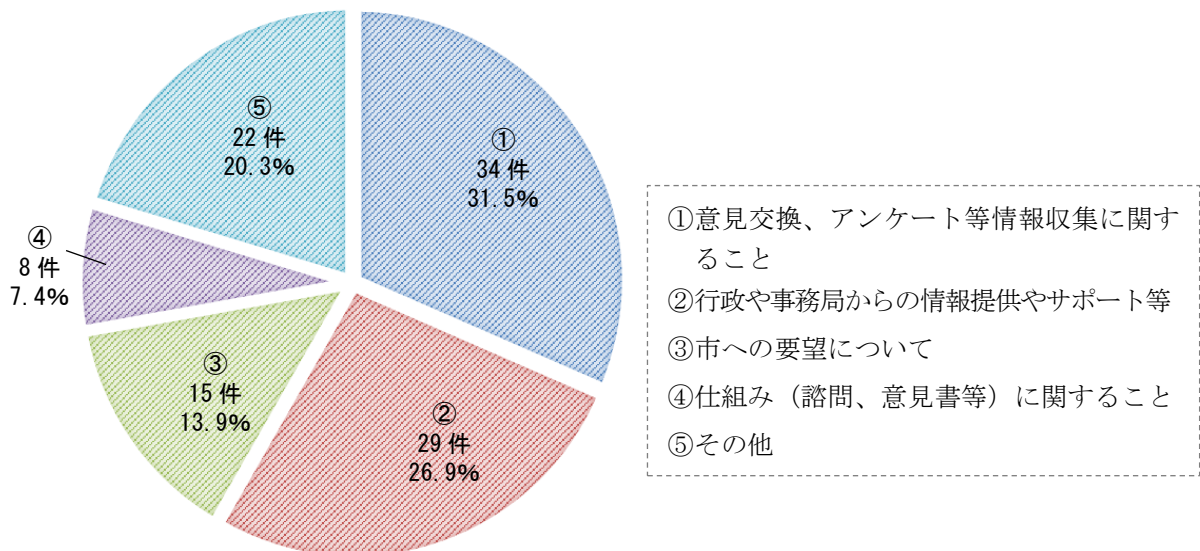
⑥ その他【34 件】

- 地域協議会の機能では不可能な部分も多く、各団体との連携が重要と考える。(80 代男性、中山間地域)

《選択肢ウの理由》

- そもそも委員として選ばれたとしても学識者でもないので困りごとや不安なことについて聞かされても困る。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会委員が各種地域の団体メンバーに所属しているため、情報交換が十分できている。(60 代男性、市街地等)

◇ これまでの設問のほか、地域課題の把握方法について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。



① 意見交換、アンケート等情報収集に関すること【34 件】

- 地域課題の把握方法について町内会等の会議があるのでそちらを充実した方がよい。(60 代男性、平野部)
- 地域に出向いて懇談会を開催した時に、「この会場にさえも移動手段がなくて来ることが出来ない人に頼まれて意見を伝えに来ました」という方がおられた。参加したとしても人前で意見を言うことはかなり勇気がいる。本当に困っている人の声を聞くことは難しいと感じた。個別の聞き取りやアンケートなどの方が声を拾いやすいのではないかと。(60 代女性、平野部)
- 若者や女性、高齢者など、身近な日常生活の課題などを情報交換できるような機会を計画していくことも必要だと思う。何かの機会を利用することも考えられる。要はもっと多様な機会

をつくることだと思う。(60 代男性、平野部)

② 行政や事務局からの情報提供やサポート等【29 件】

- 他地区の地域課題をもっと提供してほしい。他区にも同様の課題があるかもしれない。(60 代男性、平野部)
- 毎年度、各町内会から提出される「市への要望事項」について全区に係る共通課題で市から見て、地域協議会の自主的審議事項として協議の対象になるような「課題」であると判断されたら、区の方へ差し戻すか紹介してもらいたい。(70 代男性、平野部)
- 町内会長、民生委員、地域協議会委員まかせではなく、総合事務所の担当者が地域住民の中に入って行って欲しい。(70 代男性、平野部)
- 委員一人ひとりが独自に地域に入って課題を探してください、というような風潮がありますが個々の委員にそれを求めるのは酷であり無理があります。住民誰でもが自由にまちづくりセンターに出向いて話ができるようにして、必要な課題は協議会で取り上げるという仕組みを充実させてください。(70 代男性、市街地等)

③ 市への要望について【15 件】

- 要望はあまり聞かないようにしている。要望を聞いてやっていると言ったのに地域協議会は何もしてくれないと取られてしまうし、協議会は何の決定権も権限も無いので、要望は行政で把握して回答してやるべきでは？(60 代男性、平野部)
- 市の各部署において、地域に必要な身近な施策の方向性を示すことができないか。(70 代男性、平野部)

④ 仕組み（諮問、自主的審議事項、意見書等）に関すること【8 件】

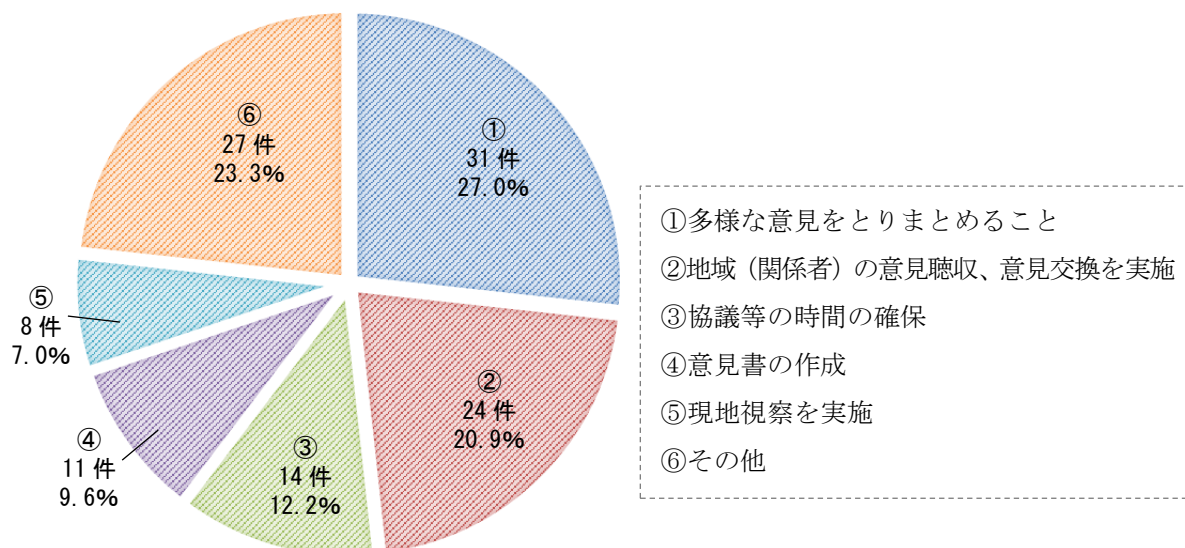
- 諮問事項、自主的審議事項は町内会長会等と重複審議となる。どちらを優先するのか。一考を必要とする。(70 代男性、平野部)
- 月 1 回程度の例会では難しいと思う。回を増やせば、負担増と声が出る。どこかで折り合いを付けるか、市と委員の認識が重要。(70 代男性、中山間地域)

⑤ その他【22 件】

- 地域課題を絞るより自然発生的で良いと思う。無理に探すことはない。(70 代男性、中山間地域)
- 区のまちづくりの会と地域協議会を連携させるとよいと思う。(50 代男性、平野部)
- 地域協議会が上げる課題がほぼ他団体と重複する。(町内会長会、地域振興協議会等)(60 代男性、市街地等)

Q3 議論の進め方等について

(1) あなたが意見書の検討・とりまとめに向けた過程で苦労した点や工夫した点がありましたか。
 ※回答対象区：地域協議会の議論を意見書（提案書含む）という形で取りまとめた高田区、金谷区、
 浦川原区、柿崎区、頸城区、吉川区、中郷区、板倉区及び三和区



① 多様な意見を取りまとめること【31件】

- 委員の課題・問題点についての知識と理解に大きな違いがあり、協議会の中での議論がかみ合わず、意見とりまとめの方向性が中々出来なかった。(70代男性、市街地等)
- 課題はみつかったても、どうまとめて、どうしたら改善できるのか、その先の難しさを痛感した。(60代女性、平野部)
- 同じ課題でも場所・地域によって意見が大きく違う。同じ課題でも各層・各年代によって異なる意見。(70代男性、平野部)

② 地域（関係者）の意見聴取、意見交換を実施【24件】

- 多くの立場の団体や保護者（幼稚園・小学校・中学校）の意見の吸い上げとして、13回の意見交換会を開催。(60代男性、平野部)
- 交通研究関係の団体の有識者に問題点及び改善策について意見交換した。(70代男性、中山間地域)
- 当事者との話し合いの場を作っても、なかなか参加してもらえない。(参加人数が少ない)(60代男性、平野部)

③ 協議等の時間の確保【14件】

- 諮問・報告事項数も多く、自主的審議に対して十分な時間を用意できない面も問題点となっている。(月に複数の会議を定期的に持つことも委員に負担がかかる)(50代男性、市街地等)
- 地域協議会全員で協議するのではなく、課題ごとに検討委員会を設けて議論すると会議が多くなる。地域協議会の会議のほかに、検討委員会で、実態把握のため地域へ出かけて施設を見学する、更に地域の人と話し合う機会を持つと家を空けることが多くなる。(70代男性、平野部)

④ 意見書の作成【11件】

- 意見書の内容の正当性を高めるための資料作成（収集）がきつかった。(70代男性、平野部)
- 意見書（案）の文面を考えるのが大変だった。(60代男性、中山間地域)

⑤ 現地視察を実施【8件】

- 現状把握で実際に現地に出向いて、実際に問題点を体験してみる。(60代男性、平野部)
- 実際、公共交通機関を使ってみた。(60代男性、平野部)

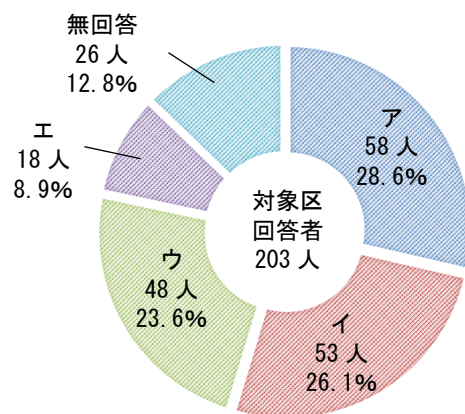
⑥ その他【27件】

- 問題解決に対しての議論は活発に実施されていると思いました。その反面、問題解決というより市に対して意見書を出さなければいけないという思いが優先されていると感じる。意見書を提出するための議論に対しての意識が少なく、1回の協議にて「もう議論は十分である」等の意見も多く出されていた。地域課題はそんなに簡単には解決されない等の意識改革・研修等を実施する必要がある。(50代男性、市街地等)
- 地域協議会がまとめる意見書は行政が行おうとしている施策と相反する意見の集約となる場合がある。その際、検討途中で行政側の窓口が地域協議会に対し市の施策へ誘導する行動・言動が見受けられた。地域協議会の自主性・独立性を尊重していただきたい。(60代男性、平野部)
- 検討委員会の活動に費用弁償が無い。(70代男性、平野部)

(2) あなたが属する地域協議会について、自主的審議はどのように進められているとお考えですか。

※回答対象区：(1)以外となる新道区、春日区、諏訪区、津有区、三郷区、和田区、高士区、直江津区、有田区、八千浦区、保倉区、北諏訪区、谷浜・桑取区、安塚区、大島区、牧区、大湊区、清里区及び名立区

ア 地域の中で解決に向けて取り組むことを目指して議論が進められている	58 (28.6%)
イ 意見書のとりまとめに向けて議論が進められている	53 (26.1%)
ウ 結論をまとめるための議論が進められているとは言えない	48 (23.6%)
エ よく分からない	18 (8.9%)



(2) (a) 回答で「(ア) 地域の中で解決に向けて取り組むことを目指して議論が進められている」とお答えいただいた方は、どのような取り組みをお考えですか。

① 地域住民・団体等との意見交換、協力、連携【16件】

- 地域で出来る小さな取り組みを行い解決の糸口として考えます。既存組織とのコラボ等。(50代男性、平野部)
- 地域の課題や問題を地域住民に伝え、一緒に考え行動する事が出来るシステムを作る。(60代男性、市街地等)

② 人口減少問題、移住促進、少子化対策【13件】

- 人口減少問題について議論し、交流人口、移住人口を増やすためのパンフレット作りをしている。(60代女性、平野部)

③ 地域協議会での十分な協議【12件】

- 問題を細かに分類して一つ一つ協議している。(50代男性、平野部)
- 自主的審議事項の課題が身近な事であっても結論が出しにくく課題の選択が重要だと思う。(60代男性、平野部)

④ 地域活性化、地域振興、地域の魅力発信【11 件】

- 地域協議会として自主的審議事項として取り組んだ「魅力発見・発信」事業は地域の住民組織によって地域活動支援事業として取り組まれ、DVD 化され観光交流事業の促進を目指している。(70 代男性、平野部)
- 地域支えあい事業とそれを運営するためのまちづくり振興会が設立に至り、一応の成果があった。(60 代女性、平野部)

⑤ 地域の環境整備（除草、ごみ、空き家の対策等）【5 件】

⑥ 地域活動における人員不足、人材育成【5 件】

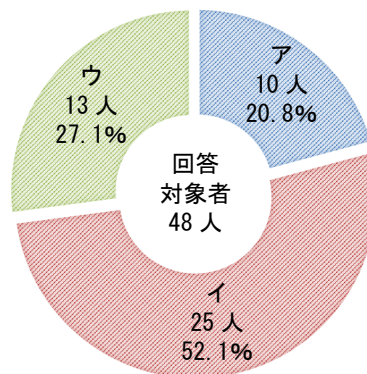
⑦ 移動支援等【2 件】

⑧ その他【13 件】

- 意見書を出すことだけが目的ではないのであたかも意見書を出さなかったことが悪いような物の言い方は止めていただきたい。当区の場合は自主的審議にあたっては市の担当に来てもらってお互いに納得のいくまで意見交換しています。この意見交換によりほとんどのことが解決していますので意見書を出す必要はなくなっています。(70 代男性、市街地等)
- 担当課との十分な意見交換をしないまま意見書を出しているところがありますが、基本的に違っています。また、意見書の回答に関して回答に来た担当課に不満足発言をしたところがありますが、してはいけないことであり事務局もこれを止めなかったことは重大な失態です。(70 代男性、市街地等)

(2)(b) 回答で「(ウ) 結論をまとめるための議論が進められているとは言えない」とお答えいただいた方は、自主的審議が地域協議会としての結論を出すことに向かって進んでいないことについて、どのようにお考えですか。

ア 肯定的に考えている	10 (20.8%)
イ 肯定的には考えていない	25 (52.1%)
ウ その他	13 (27.1%)



《選択肢アの理由》

- 結論を出すことはとても難しいと考える。諸々の考えをひとつにまとめなくてもよいと考える。話し合った事柄を地域に戻していかなくてはと思うが、その方策を考えることができなかった現実というか、地域協議会の実態でしかたない。(70 代女性、中山間地域)
- 自主的審議事項については他地区でも同じ問題が発生しており、協議会レベルではないと思える。オリジナリティがほしいが見つかる事が出来なかった。(反省) (50 代男性、平野部)
- 地域の課題はその内容により町内会等の関係団体が独自に処理している為。(60 代男性、市街地等)
- 予算も権限もない地域協議会では結論は出せない。(70 代男性、中山間地域)

《選択肢イの理由》

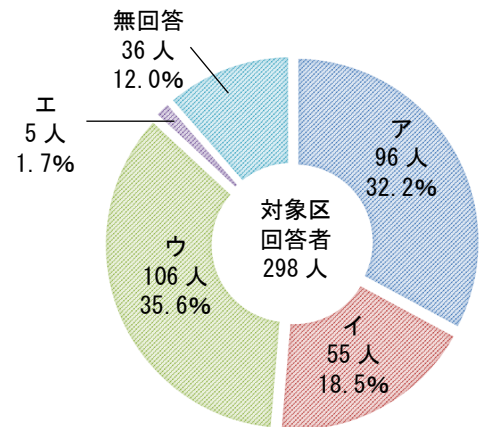
- 自主審議のレームダック化の状況は、各委員での発言提案だけではまとまる状況ではなかったことを考えれば、計画立案のプロである事務局として、検討プロセスや方向性の案を複数出して、審議の進展を図っても良かったのではないかと考えている。(50 代男性、市街地等)

- 議論を進める方向がはっきり見えてこないで苦労している。(60代男性、中山間地域)
- テーマが大きすぎて抽象論に堕してしまっている。(70代男性、市街地等)
- 課題解決に向けてのステップが具体化されていない。(60代男性、中山間地域)
- 各委員の考え、立場が異なり、他の委員の批判をする、会議に欠席が多い等、本当に地域協議会の趣旨をはき違えているように思える委員がおり、建設的な議論構築に至らないのが、現状である。(60代女性、中山間地域)

(3) あなたは、「地域を元気にするために必要な提案事業」(以下、「元気事業」)について、どの程度ご存知ですか。

※回答対象区：元気事業の提案のあった頸城区を除く27区

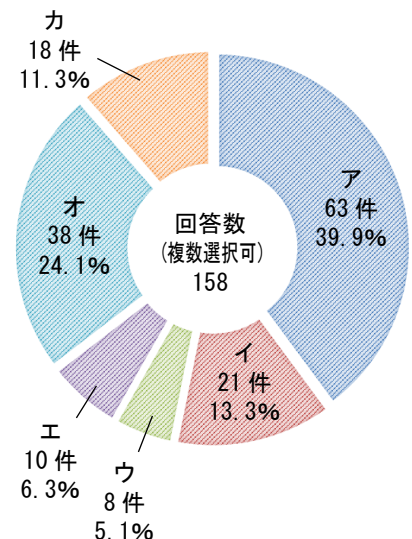
ア 地域協議会委員の手引き(p.10)に掲載の内容程度は知っている	96 (32.2%)
イ 名前は聞いた(見た)ことがあるが、内容はよく知らない	55 (18.5%)
ウ このアンケートで聞かれるまで存在を認識していなかった	106 (35.6%)
エ その他	5 (1.7%)



(3)(a) 回答で「(ア) 手引きに掲載の内容程度は知っている」とお答えいただいた方は、あなたが所属する地域協議会で自主的審議に取り組む中で、元気事業の活用が進まなかった理由をどのようにお考えですか。(複数選択可)

また、元気事業の活用を進めていくためには、どのようにしたらよいですか。

ア 取り組み方の基本的なイメージや方法等が委員の多くで共有できなかった	63 (39.9%)
イ 議論を進める上で、元気事業の活用を想定していなかった	21 (13.3%)
ウ 元気事業を進めた場合に連携や調整等の相手先となる地域の団体等の存在がよく分からなかった	8 (5.1%)
エ 元気事業を進めた場合に連携や調整等の相手先となる地域の団体等から協力を得られないと思った	10 (6.3%)
オ 元気事業の活用に向けて、地域協議会で議論を主導する委員がいなかった	38 (24.1%)
カ その他	18 (11.3%)



① 制度の在り方、難しさについて【16件】

- 当初は協議経過、内容の如何によっては「元気事業」の対象にと視野に入れていたが、魅力発見・発信事業は地域活動支援事業でスピードを早めた。(70代男性、平野部)
- 市に提案しても審査し実施が認められる保証がないため。(70代男性、平野部)
- 事業のイメージが上手くできない。(70代男性、平野部)
- 以前に活用に向けて市の担当者を交えて検討した経緯があるが、手続きが結構面倒であった。

行政といっしょに考えていっしょに課題解決に向けて行動する制度だが、結局は自分達が動かなければ活用できない事業であることがわかった。要するに、非常に使いにくい仕組みであるということです。(70代男性、市街地等)

② 地域協議会で事業目的や意識の共有が必要【10件】

- 自主的審議結果の実現にはこの仕組みが最も現実的であり、委員（協議会）としての醍醐味を味わう事が出来るからもっと多く活用すべき。(70代男性、市街地等)
- 事業の提案に至るまで、時間を設けて議論を深める意識を委員の中で涵養していくこと。(70代男性、市街地等)

③ 地域住民・団体との連携、協力【9件】

- 区内で活動している団体との連携と意識の共有。(70代男性、平野部)
- 地域の各団体と意見交換をして委員全員が地域を元気にすることを考えていくことが大切だと思う。“誰かがするだろう”と思っていたら地域は変わっていけないと思う。(60代女性、平野部)

④ 委員の取組み姿勢に関すること【5件】

- 委員のみなさんの中には、委員の本分は諮問に対しての審議と意見書等での市への提言のみが役割だとの認識が有るように思われ、地域協議会が主体的にまちづくりにかかわるべきでないとする考えをお持ちの方もいるように思えます。(50代男性、市街地等)
- 地域協議会委員の多くは地域の課題を把握していると思われるが、地域活動支援事業の審査採択の終了とともに、「元気にするための提案事業」への意欲は欠落している。その原因は、①地域自治制度を理解しておらず、無償で複雑多岐にわたる委員活動には意義を見出していないこと。②地域活性化及び委員としての役割や資質がどうあるべきか理解されていないこと。③特に町内会長協議会との違いが分かっておらず、「地域協議会は屋上屋を重ねるだけの組織」と発言、揶揄している委員も多い事。(70代男性、市街地等)

⑤ その他【13件】

(3)(b) 回答で「(イ) 内容はよく知らない、(ウ) 存在を認識していなかった」とお答えいただいた方は、元気事業への内容理解や元気事業の活用に向けて、どのような工夫が考えられますか。

① 行政から地域委員への説明、勉強会の実施【45件】

- どの課題・提案が元気事業の活用になるのか具体的に示してほしい。(50代女性、中山間地域)
- 市政の知らない者に対してパンフレット、手引き(p.10)の記載内容だけでは分かりません。もう少し内容説明が欲しいです。(60代女性、市街地等)
- 地域協議会で定期的な勉強会を行い、全体の認識を一致させていくことが必要と考える。(60代男性、平野部)
- 委員の手引きを渡すだけではなく、委員の役割について、具体的な例を挙げて総合事務所の方からよく説明をしてほしい。又、そういう時間をきちんと設けてほしい。よくわからないまま引き受けてずるずるときてしまうことを避ける為。(40代女性、中山間地域)

② 内容を知らないため、分からない【27件】

③ 地域住民、活動団体等への事業内容等の説明・周知【15件】

④ 地域住民、活動団体等との意見交換、連携【8件】

- 事業を計画していく段階から市が関わって頂けるという事で、課題の解決に実効性が期待できると思います。地域課題の共有が前提になるので、その点が活発であれば解決のための手段として元気事業の応用が進むものと考えます。(50代男性、中山間地域)
- こうした取り組みは地域主体、住民主体で取り組んでいくことがより継続的、実効性が高い

ものと思われることから、そうした地域団体等への働きかけに重点を置いた方が良い。(60 代男性、中山間地域)

⑤ 地域協議会での議論【8 件】

- 元気事業の内容等、委員同士共有すること。(70 代男性、平野部)
- これが本来地域協議会のあるべき姿です。人口減少に向かう今こそ住んでいる区の未来を考えてコンパクトシティを実現する為の施策をみんなで早急に議論すべき時だと思います。(70 代男性、市街地等)

⑥ 他区との交流、情報共有【7 件】

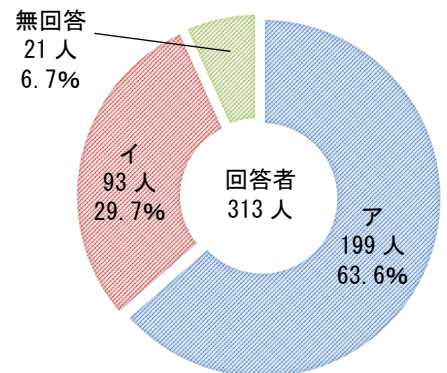
- 実施した協議会との勉強会が必要と考える。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会の設置目的や基本理念を理解するとともに、他の地域団体との交流を深める中で役割の違いを全員が理解して、必要な情報を共有すること。そのための学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。(70 代男性、市街地等)

⑦ その他【25 件】

- 元気事業の内容理解を勉強して活用できるように努力していきたい。(60 代男性、中山間地域)
- 地域活動支援事業の中で元気事業の目的が果たしているのでは？限られた時間の中で元気事業について議論できるのか疑問。(40 代男性、市街地等)
- 地域協議会としてやるべきことはない。(70 代男性、市街地等)

(4) 地域協議会で自主的審議事項に取り上げようと議論している時や、既に議論が進行中の時に、地域協議会がその議論に必要な範囲において、住民や団体の皆さん等を参考人（オブザーバー）として議論に加える仕組みの導入について、どのようにお考えですか。

ア 加える仕組みを検討した方がよい	199 (63.6%)
イ 加える仕組みを検討する必要はない	93 (29.7%)



《選択肢アの理由》

① 多くの、様々な意見を聞くことができる【66 件】

- 新たな視点やアイデアを提供してもらえる可能性があることと、住民自治を充実させられるから。(70 代男性、平野部)
- 多様な立場や知見を得ることが必要だと思います。(50 代男性、中山間地域)
- まとめるのは大変になるが、多くの人の意見を取り入れた方がより良い議論が出来ると思う。(50 代女性、平野部)
- 委員だけの協議では情報不足の部分も考えられるので、各種団体等の情報・意見が必要だと思います。(参考になります) (70 代男性、平野部)

② 課題を詳細に把握できる、明確になる、議論の整理ができる【41 件】

- オブザーバーの参加より、見えづらい部分が明らかになれば議論の幅が広がり、良い結果が得られる。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会のスタンドプレイにならないように。現状と見当外れになっている危険を避けるため。(60 代女性、平野部)
- 多岐にわたる議論が必要であり、その分野の専門知識者、関係者から意見をいただき、議論を進行させ結論を早める必要がある。(70 代男性、平野部)

③ 地域協議会の議論を開示し、地域の理解・協力を得るため【27 件】

- 地域を巻き込んだ活動につなげやすい。地域協議会は実施団体ではないので、机上の空論に陥る可能性がある。(50 代女性、平野部)
- 地域協議会への関心を深め、認知度の向上につながるため。(70 代男性、平野部)
- 実行段階では実行委員会等を立ち上げ実行を目指す時、各団体等に役割分担してもらう必要が出てくる。(70 代男性、市街地等)

④ 委員の知識・理解では不足するため【10 件】

- 地域協議会委員の問題・課題についての知識・理解には限界があり、特定の問題・課題についての知識・理解を有する者（住民や団体等）に参加を求めることは有意義であるとする。(70 代男性、市街地等)
- 委員の全てが色々な問題の専門分野に明るいとは限らない。(60 代男性、平野部)
- 委員も地域の住人ではあるが、精通はしていない場合が多いので入って頂いた方が良いと思う。(60 代女性、平野部)

⑤ その他【19 件】

- 議論の中で加えるべきか聞き取るべきか、その都度内容によって異なるが、門戸は開いておくほうがよい。(70 代男性、平野部)
- 意見を聞くのは良い事だと思うが、我々自身調査が市当局からの関連情報を整理しながら自分（協議会）で最終的な判断をすべき。(70 代男性、市街地等)

《選択肢イの理由》

① 地域協議会のみでよい【43 件】

- オブザーバーを加えると意見の偏りや同情が先行して公正な議論や選択の指針にブレが生じる。(60 代男性、平野部)
- 定例の協議会及び地域活動支援事業関連の回数も多く、団体等との話し合いは参考人を迎える方式ではなく、地協委員が出向き、じっくり内容を聞き取り、更に議論を深める形をとっていった方がよいのではないかと考える。まだオブザーバーを加えて話し合える段階ではないため。(60 代女性、中山間地域)
- 参考人の話が答えとなり、委員の議論が進まない。(50 代男性、平野部)
- オブザーバーとして議論に加えるようになればそれは地域協議会でなく、検討委員会になってしまう。そのへんのけじめが必要では？住民や団体の皆さんの考えを聞く為に懇談会・意見交換会や聞き取り調査をして多くの意見を聞いているのでは？(60 代男性、平野部)
- 住民や団体の皆さんは地域協議会にあまり関心がない。特に住民の皆さんの関心がないように感じた。(70 代男性、中山間地域)

② 必要な時のみの参加でよい【11 件】

- 他の人の意見を聴くことは大切と思いますが、それぞれの立場が違うのでこちらが必要とするときに他の団体の会議等に参加する事がよいのでは？(50 代女性、平野部)
- 敢えて仕組みを考える必要はない。必要と思ったら参考人として参加してもらえばよい。(70 代男性、市街地等)

③ その他【11 件】

(4)(a) 回答で「(ア) 仕組みを検討した方がよい」とお答えいただいた方は、検討に当たり留意すべき点や提案（アイディア）があればご記入ください。

① 地域との懇談会等で様々な意見を募る【33 件】

- 地域の各団体には、事前に協力要請を頂き、必要に応じて各団体から 1～2 名の方に参加して頂く体制を整えておく。(50 代男性、中山間地域)

- 委員という資格のあるなしでなく、地域と一緒に考え協議する「拡大地域協議会」という形をしたら住民にも関心を持って頂ける。(60代女性、平野部)
- 地域の子ども会(親)との意見交換。地元の中学生、高校生との懇談会。(60代男性、平野部)
- 年度初めに「地区まちづくり協議会」(旧地区振興協議会)と地域協議会委員との会議を設け「地区の課題」について話し合い、①早い段階の対応が必要な事項、②少し先でもよいが今から検討する事項に分けて課題を整理した上で地域協議会の当該年度のスタートにしたら良い。(70代男性、平野部)

② 参考人(オブザーバー)の意見の取扱い等について【32件】

- 人数や団体が増えるほど議論はまとまりにくくなる。あくまでもオブザーバーとしての導入とし、地域協議会の審議・結論を尊重するべき。(50代女性、中山間地域)
- 協議委員会全体の審議事項ではなく、部会形式の協議と言う場での共に協議を進める立場として参加出来る様にした方が良いかと思う。(60代男性、中山間地域)
- 一部の住民や団体の方の意見・思いが強すぎて議論に偏りなど支障が生じる部分も見られることから、協議会の委員で議論する会議と外部の意見を聞く会議はしっかりと線引きをする必要があると思う。(50代男性、市街地等)
- 意見に制約を設けず、自由に意見を出しやすい環境をつくる。結論誘導はなるべく行わない。(50代男性、中山間地域)

③ オブザーバーの人選について【30件】

- 団体代表だけでなく、個人であっても意欲がある方なら参加出来る仕組みにしてはどうでしょうか。(50代男性、中山間地域)
- 会議出席時、地域協議会委員と同額の支弁制度が必要。(70代男性、平野部)
- オブザーバーは議論の過程で必要な団体に絞るべきで、あまり関係ない団体や住民を入れると意見が発散してしまう。(50代男性、平野部)

④ オブザーバーの活用方法、議論の進め方について【16件】

- 議論に参加ではなく、意見を募る。(70代男性、中山間地域)
- 話し合う目的を明確に短時間に効率よく進められるようなグループワークを取り入れる。(50代女性、平野部)
- 団体を加える時には充分に関係住民の声を聞いて、賛成だけではなく反対の意見も持って参加してもらう。(80代男性、市街地等)

⑤ その他【28件】

- 委員の中から関心のある人に手を挙げてもらってプロジェクトとして検討してください。実効性のあるものにするためには実際に携わっている人に入ってもらうことが大切です。(70代男性、市街地等)
- “地域の団体との連携や調整、課題の解消”をその先に見据えるのであれば、“オブザーバー”のしているだけよりも、“アドバイザー”の積極的な会議への参加の方がよいのかもしれない。(50代女性、中山間地域)

◇ これまでの設問のほか、議論の進め方等について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

① 会議の運営に関すること【37件】

- 協議会委員の責務として全ての議題に対して、各委員からお考えを必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。各委員に意見を整理していただくために、事前の議題提示及び資料送付し、その案件についての意見を事前に提出頂くことも有効なのではないかと考えます。(50代男性、市街地等)
- 協議会の議論の進め方は定着しつつあり、特に問題ないと思うが月1回、2~2.5時間では十

分な議論ができない。(70代男性、平野部)

- 協議会の議長は会長、副会長が務めているが、たまには協議会委員での持ち回り制にしてはどうか。マンネリ化を無くし違った意見が聞け活気が出ると思う。(60代男性、平野部)
- 今期の委員の資質等にも関係するが、地域協議会の運営の進め方は協議会委員、とりわけ三役が中心となって自主・自立して行うことが重要である。事務局はサポーターやアドバイザーに徹し、それぞれが協力して進行することが望ましい。(70代男性、市街地等)

② 行政の対応、行政からの情報提供等に関すること【24件】

- 議論を進めて行っている中で、行政に相談に行ったりした時点で、行政も現状で最大限教えられる事項は提供してほしい。相談に行ったりした時点で何も言わず、意見書として提出した直後に同じような問題提起をされては、行政への不信感のみが生まれてしまい、地域協議会とのお互いの信頼関係が築けない。(60代男性、平野部)
- 市の職員は一生懸命取り組んでくれるが、基本は経費削減に向けて考えざるを得ないようであり、提案に対してもっと良くなるような策などはあまり言わない。駄目なら駄目と言ってほしいし良い案があるなら積極的に助言していただきたい。(60代男性、平野部)
- 「意見書」の提出から市長が回答するまで1か月となっている。時間をかければ良いものではないが、「意見書」提出には調査・議論・書類作成時間を要している。意見書提出に至った中身を精査し、回答をお願いしたい。(60代男性、平野部)

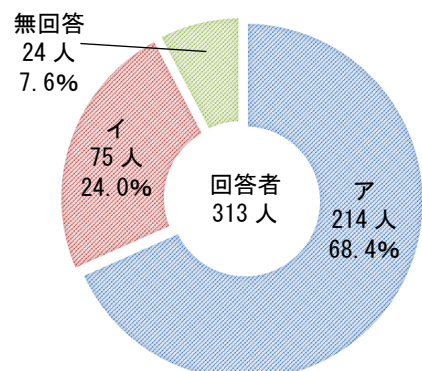
③ その他【22件】

- 司会進行について会長となられた方に少し研修いただいてからの方が議論の進行がスムーズではないかと思います。(50代女性、市街地等)
- 地域の各組織間の連携が弱い。組織をまとめる団体の結成。(70代男性、市街地等)
- 委員の募集について、定員あわせの努力をしないでほしい。やる気のある人だけで進めるべき。(70代男性、中山間地域)
- 近隣地区ブロック会合等でテーマによる討議。(80代男性、中山間地域)

Q4 議論の結果の地域への貢献について

- (1) あなたが属する地域協議会について、自主的審議での議論の過程や結果において、「地域の団体※との連携や調整などを通じて課題の解消に向けて取り組む」ことは念頭に置かれていますか。
- ※ 地域の団体：まちづくり団体や町内会、ボランティア(的)な団体など

ア 念頭に置いて進めている (進めた)	214 (68.4%)
イ 念頭に置いて進めていない (進めることはなかった)	75 (24.0%)



- (1)(a) 回答で「(ア) 念頭に置いて進めている (進めた)」とお答えいただいた方は、どのような連携を考えていましたか。

① 地域の団体と【86件】

- 意見書の内容により、原案の段階で地域の団体等に確認や同意を得る様にした。(50代男性、中山間地域)

- 事業主体に地域協議会がなれないので、次年度の地域活動支援事業へ提案してもらうこと。(70代男性、平野部)
- 高齢者福祉施設の整備について、地域の任意団体と連携し、地域協議会の自主的審議事項として検討を重ねるとともに、地域集会の開催や市長他関係機関への要望活動は任意団体が主導するといった役割分担を行いながら実現にこぎつけた。(60代男性、中山間地域)
- 地域課題の発掘には地域団体との話し合いが最も有効かと考えます。又、その調整・解決には地域団体の協力が不可欠なものと認識しています。(70代男性、市街地等)

② 町内会と【48件】

- 町内会などと一緒に自主的審議事項の内容を議論した。(40代男性、平野部)
- 意見書には町内会長連絡協議会との意見交換会の内容を反映させている。但し、より広い住民の声を反映させるべきだが、今後の課題であろう。(50代男性、市街地等)
- 自主的審議事項で取り上げた内容の実現に向けて、町内会長協議会と小委員会（検討）的な会を立ち上げ、お互い連携を図り、実現する。(70代男性、平野部)

③ 地域の住民と【28件】

- 地域協議会委員のみの意見ではなく、関係する住民の考えを知るために、地域へ出向いて話し合い、意見交換を行っている。(70代男性、平野部)
- 地域に出向いて懇談会を開催し、住民のみなさんの意見を聞き、地域協議会で話し合い、意見をまとめ、町内会長と意見交換をしたうえで、再度地域のみなさんと懇談会を聞き意見書にまとめた。(60代女性、平野部)

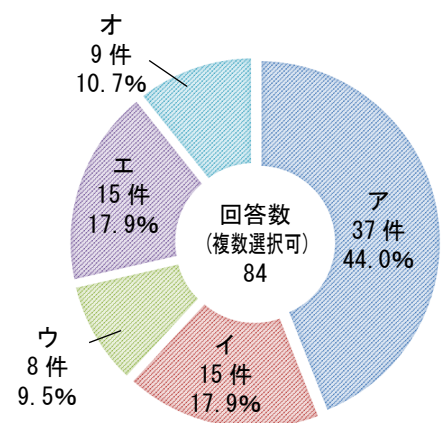
④ 念頭に置いているが実現できず【6件】

⑤ その他【61件】

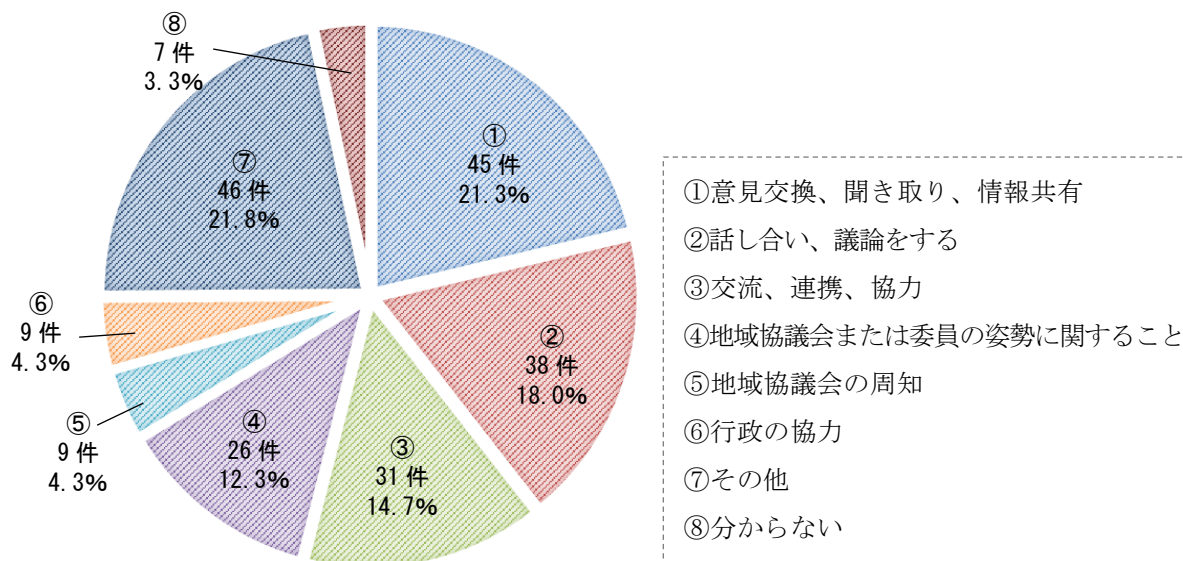
- 地域協議会委員に多くの団体代表等が含まれている。(70代男性、市街地等)
- 地域の団体等に何かをしてもらうという発想には疑問があります。地域との連携は必要ですが連携の仕組みづくりをすることが必要です。新潟市のコミュニティ協議会の仕組みを導入する必要があります。(70代男性、市街地等)

(1)(b) 回答で「(イ) 念頭に置いて進めていない(進めることはなかった)」とお答えいただいた方は、その理由はどのようなものですか。(複数選択可)

ア 連携による解決策の取りまとめを想定していなかった	37 (44.0%)
イ 連携等の検討について、地域協議会で議論を主導する委員がいなかった	15 (17.9%)
ウ 連携等の相手先となる地域内の団体等の存在がよく分からなかった	8 (9.5%)
エ 連携等の相手先となる地域内の団体等から協力を得られないと思った	15 (17.9%)
オ その他	9 (10.7%)



(2) 今後、地域協議会で地域の団体等との連携や調整などを通じて課題の解消に向けて取り組むために、どのようなことが必要とお考えですか。



① 意見交換、聞き取り、情報共有【45件】

- 小中学校の子供を持つ親世代の意見を聞く事。具体的には PTA 会長、副会長（女性含む）の会合にオブザーバーとして参加して情報収集していくこと。改めて彼らと呼んでも構えてしまっていて発言は無いと考える。（70 代女性、市街地等）
- 地域協議会の委員で役割分担して地域内各種団体の動向（活動・希望）など情報とりまとめを行い、地域協議会メンバーの共通認識へつなげる。（70 代女性、中山間地域）
- 課題によって関係団体と意見交換する。前提として区内にどのような団体がどのような活動を行っているかデータベース化していく必要がある。（60 代男性、平野部）

② 話し合い、議論をする【38件】

- 定期的な会合を開催し、日常的に相談などが出来る信頼関係の構築。（70 代男性、平野部）
- 課題に気付き、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進める事。（50 代女性、市街地等）

③ 交流、連携、協力【31件】

- 委員には町内会長や老人会役員、まちづくり役員などはいるが、もっと若い世代の考えを聞くことが必要。特に家業を継いだり家建てたようなこの地域で生きていく覚悟をもった若い人達と連携していくべき。（50 代女性、中山間地域）
- 日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要では。（60 代女性、中山間地域）
- 地域が一体となって地域協議会を含め、町内会長協議会や沢山の団体が一致協力して一つの問題に取り組む必要があります。（60 代男性、平野部）
- 委員に気軽に課題を持ち込める環境作り（70 代男性、中山間地域）

④ 地域協議会または委員の姿勢に関すること【26件】

- 委員は自らもって自分の出来る範囲でまず活動することが大切だと思う。（ただ人のやっている事を評価するのではなく）協議会でこの 1 か月各委員が地域の為にどんな事をしたか 1 人 1 分ずつ発表する時間を設ける。（70 代男性、市街地等）
- 懇談会や意見交換会の中での意見に対して絶対に反論はしない。出された意見の問題点・疑問点を此方が聞けば相手も反応してくると思う。（60 代男性、平野部）
- 地域の身近な問題を取り上げる事。あまり大きな課題に取り組まない方が良い。何故なら地域協議会の範囲以上になるから。（例えば人口問題）（70 代男性、市街地等）

⑤ 地域協議会の周知【9 件】

- 地域協議会の存在の意義が良くわからないという意見を聞くことがあります。地域協議会が関わることで課題が解決する事例が必要だと考えます。(50 代男性、中山間地域)
- 地域協議会として今何を行っているか広く伝え、協力を得る事。(60 代男性、平野部)

⑥ 行政の協力【9 件】

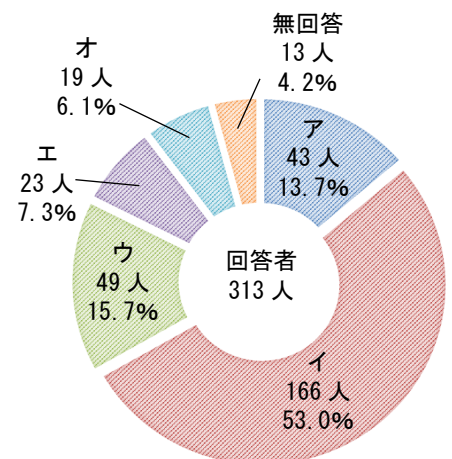
⑦ その他【46 件】

- 当区は地域の団体等の役員との交流が持続的にあり、特に必要がない。(60 代男性、市街地等)
- 地域協議会が主導して連携・調整を図ることは考えない方がよい。目的が明確化するとは思えないから。(70 代男性、市街地等)
- 委員が関係している団体だけが話に上がる。委員は地域の公の組織及び団体の役員や発言力のある立場にない人間にするべき。(40 代男性、平野部)
- 新潟市にコミュニティ協議会がありますが、とても良い仕組みです。上越市もこの仕組みを取り入れる必要があります。(70 代男性、市街地等)

⑧ 分からない【7 件】

(3) あなたが属する地域協議会について、議論の結果がどの程度地域に貢献できたとお考えですか。

ア 議論の結果は、地域への貢献ができた	43 (13.7%)
イ 議論の結果は、地域への貢献が一定程度できた	166 (53.0%)
ウ 議論の結果は、地域への貢献があまりできなかった	49 (15.7%)
エ 議論の結果は、地域への貢献ができなかった	23 (7.3%)
オ よく分からない	19 (6.1%)



(3) (a) 回答で「(ウ) 貢献があまりできなかった、(エ) できなかった」とお答えいただいた方は、地域協議会の議論を更に地域で役立てるために、どのような工夫が必要とお考えですか。

① 地域との関わりに関すること【26 件】

- 市の報告事項であれ、協議会の検討内容を地域に持ち帰り報告と共に検討が必要と思う。(70 代男性、中山間地域)
- なかなか時間は取れませんが少しでも地域の方との交流を深め、何を求めているのかを知り、それを解決してそれで貢献していけるようになると思います。(50 代女性、市街地等)
- この 4 年間、もっと地域と密接に話し合う場が必要ではなかったかと反省している。従って地域協議会の議論を外向きにして地域との連携を深めていくべき。(70 代男性、市街地等)

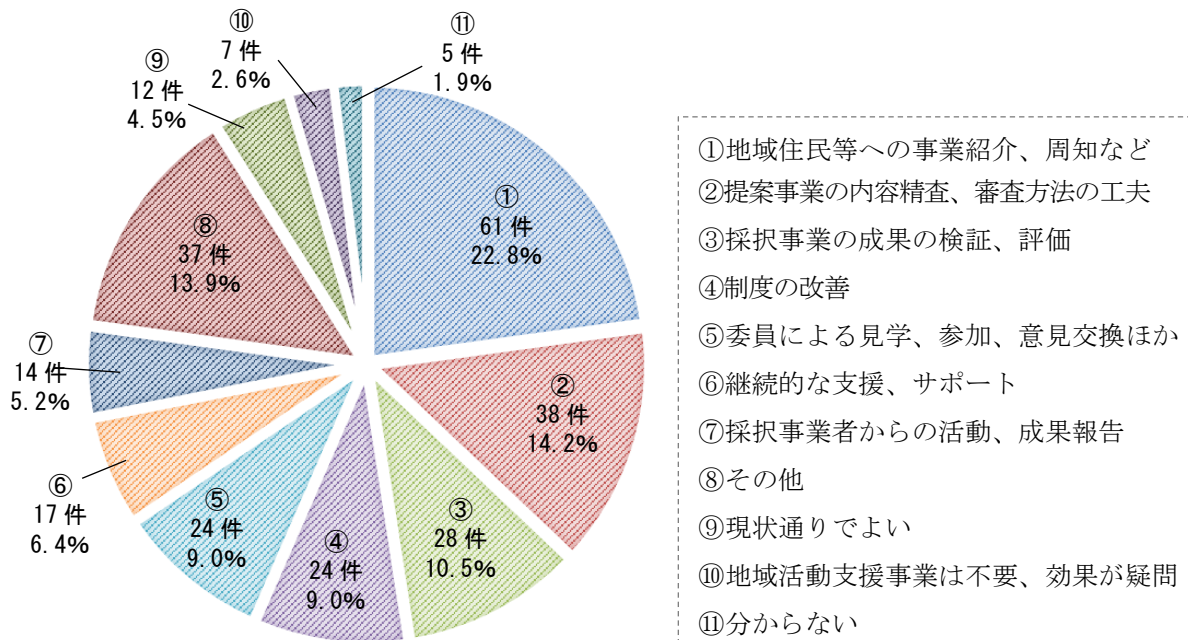
② 地域協議会の運営等に関すること【18 件】

- 4 年間で形にすることが出来ず大変後悔。スケジュールをしっかり決め、時には月 2 回の話し合いも必要と思う。(50 代男性、平野部)
- 課題や問題が大きすぎて、なかなか解決策が見出せなかった。(60 代男性、中山間地域)
- 各団体の役員の使命感は期待出来る。粘り強く意見交換の場を増やし、地域に広めて行く事が必要。委員の粘り強い活動自覚が重要。(70 代男性、中山間地域)

③ その他【12 件】

- 諮問事項が負の遺産整理のことが多く、希望的なものが少ない。(70 代男性、中山間地域)
- 地域の役員が 2 年間であり、なかなか親身に考えていないので大変。(70 代男性、中山間地域)
- 地域協議会委員だけの力では形になりにくい。市の職員の協力がある程度無いと難しい。市の計画に無いことを提案しても協力してもらえないことがわかった。(50 代女性、平野部)

(4) 地域協議会における地域活動支援事業の審査については、地域の目指すべき姿や地域で抱える課題などを踏まえた採択方針に基づき、取り組んでいただいているところです。採択した事業がより一層地域に貢献するために、どのような工夫が考えられますか。



① 地域住民等への事業紹介、周知など【61 件】

- 採択された事業の報告だけではなく、参加者を募れる事業は事前の PR がもっと必要なのではないでしょうか。(70 代女性、市街地等)
- 地域活動支援事業を使って、各団体が活動していることをアピールしたら良いと思います。(60 代男性、中山間地域)
- 地域活動支援事業の活用によって得られた事業成果について利用団体内外での PR 活動を強める事。(70 代男性、平野部)

② 提案事業の内容精査、審査方法の工夫【38 件】

- イベントへの助成をしない。課題解決のみへの助成とする。(50 代女性、市街地等)
- 当区では申請した事業に文書で質問を出してその回答を採点に生かしていますが、質問の時に「このようにしたらより良いものになりますか、いかがお考えですか。」というように事業への工夫を質問段階で提案しています。(70 代男性、市街地等)
- 次世代に引き継げる課題の行い方が良いと思う。地域の方々の活動が同好会的であってはならないので、その見極めが必要だと思う。(70 代男性、市街地等)

③ 採択事業の成果の検証、評価【28 件】

- 全市において優良な地域活動支援事業の表彰や紹介を行う。この場合において当該地区の声が伝わるのが重要です。「やって良かった」「やってもらって良かった」の生の声が聞きたい。(70 代男性、中山間地域)
- より一層地域への貢献を考えていくには、使用した補助金がきちんと効果があつたか、実施内容が企画効果を生んでいるかを各地域協議会だけではなく、第三者的にきちんとチェックし

てその結果を公表できる機関等の存在が必要であると思う。(50代男性、市街地等)

④ 制度の改善【24件】

- 一般市民の方々は地域活動支援事業でどんな団体が、どんな提案をされ、どのような議論に基づいて採択（不採択）されているか今の決定プロセスでは、わからないのではないかと思います。まずは地域活動支援事業の採択プロセスを市民に公開し、多くの人がまちづくりに興味を持っていただき、参画したいと思っていただけるようなしくみに改善すべきと考えます。そのために、公開プレゼンテーションと公開審査を再度要望します。(50代男性、市街地等)
- 地域活動支援事業については根本的に考え直す時期に来ていると思う。(70代男性、平野部)
- 地域により採択の結果がまちまちであり、統一したものができれば採択が早くなるのでは。(70代男性、市街地等)
- 現状は既設団体或いは中高年組織団体が主に申請していると思われる。若者の活用と言われるが、各地区単位では人数が少なくまとまって活動しにくい。現状の制度は残してもらって別枠で上越市全体或いは何地区かで活用できる制度もあっては良いのではないかと。但し、若年層のみを対象として中高年まで広げると申請が多すぎて収集がつかなくなる恐れあり。(60代男性、平野部)
- 提出書類をもっと簡単に簡素化して提出しやすくする。この書類を書くだけで大きなハードルとなっている。(60代男性、平野部)

⑤ 委員による見学、参加、意見交換、事業の発掘【24件】

- 地域協議会委員と事業を行った団体との成果と課題を共有し、議論をするべきであると思う。それが今後につながると思う。活動報告はあるが議論が行われないので発表だけに終わっている。(70代男性、平野部)
- 提案団体と地域協議会の懇談会を開催し、地域貢献に役立っているか意見交換すること。(70代男性、平野部)
- まず地域協議会委員が採択された地域活動支援事業にできるだけ参加したり様子をみたりして、地域に貢献の様子を感じ取ることが必要です。(60代女性、平野部)

⑥ 継続的な支援、サポート【17件】

- 採択した事業の自主的運営化に向けたサポートが必要だと思う。(40代男性、市街地等)
- 「行動」に対する地域活動支援事業の件数が少ないが、一つの事業に対し継続的に支援事業費を使用した活動支援ができるようにする必要があるのではないかと。(50代男性、平野部)

⑦ 採択事業者からの活動、成果報告【14件】

- 採択された案件は代表が結果報告（成果報告）等をしていただければと思う。(70代男性、平野部)

⑧ その他【37件】

- 提案事業が実行された結果、それがその地域にとって必ずしも「提案時うたっていた地域貢献」とはならなかった苦い例もあり、それはその提案団体が果たして当地域が本当にその事業を望んだものか把握不十分だったとしか言えず。事業受付時の対応は困難です。提案団体の良識が問われる問題です。(70代男性、市街地等)
- それは個々の事業が考えるべきものでこちらからどうこういうものではないと思います。(50代男性、市街地等)
- 「事業が地域に貢献する」ことが目的ではなく、地域主体・住民主体で地域課題を発見・把握し、その解消・改善に取り組んでいくことが重要であると考えます。こうした地域主体・住民主体の取り組みが継続される中、行政から新しい地域づくりの提案が無いのはいかがなものか？(60代男性、中山間地域)
- 地域活動支援事業の要望が多く、毎年予算額を超過している現状であり、評価点の低い事業を減額して予算額に調整しているが、市内では残額が多い地区もあり追加助成を考えてほしい。(申請事業が中途半端になってしまう。)(60代男性、中山間地域)

⑨ 現状通りでよい【12 件】

⑩ 地域活動支援事業は不要、効果が疑問【7 件】

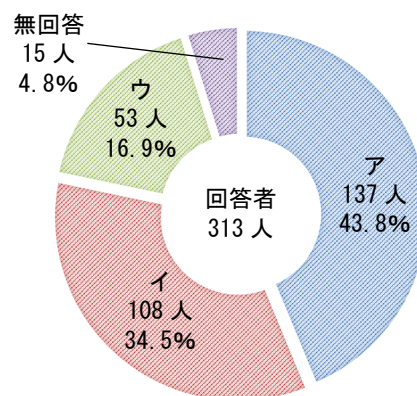
- 地域活動支援事業について個人的には一度全廃してみて、そこで地域活動支援事業がなくなったことで生じる問題を明らかにした方が良いと考える。どうしても同じ団体だけが毎年申請する状況が続く点の改善。広報上越、FM 上越での周知は認識しているが、それは市政に関心がある自分だからであって、一般市民にとっては興味すらないだろう。知る人だけが得られるという現状はよいとは思わない。(50 代男性、市街地等)
- これだけの財政難の中、地域活動支援事業自体疑問です。また地域も補助金や支援金がなければ何も出来ないというならば、それは本当の活性化につながらないと思います。(70 代男性、中山間地域)

⑪ 分からない【5 件】

(5) 地域活動支援事業は、現在、区の配分額の全額を対象に、提案事業を公募しています。今後、地域協議会の議論の結果がより一層、地域課題の解消や地域の活性化につながるものとする観点から、例えば、地域協議会で話し合った地域課題の解決策を実現するため、地域協議会が直接地域の団体等*と協議・調整を行い、公募によらず区の配分額の一部を活用して事業を実施する仕組みを求める声もあります。あなたは、このことについてどのようにお考えですか。

※ 地域の団体：まちづくり団体や町内会、ボランティア(的な)団体など

ア 仕組みの導入に向けて考えてよい	137 (43.8%)
イ 仕組みの導入に向けて考える必要はない	108 (34.5%)
ウ よく分からない	53 (16.9%)



《選択肢アの理由》

① 地域協議会の議論がより課題解決、地域の活性化に寄与できる【39 件】

- 地域協議会で課題となっていることを事業化しても良いと思う。そうならば地域協議会での検討に熱が入るのではないかな。(60 代男性、中山間地域)
- 理想的にはあっても良い。仕組みを考えるが地域協議会の委員がどれだけ時間を割くことができるか、人がいるかが課題と思われる。(60 代男性、平野部)
- 協議会委員だけで協議して結論を出しても地域に受け入れもらえなければ実現しない課題の早期解決には必要と考える。(70 代男性、市街地等)

② 事業固定化の解消につながる、配分額を有効に活用できる【30 件】

- 委員はより必要性のある事業を理解している。提案団体はマンネリ化（常連化）している傾向がある。助成のシステムが終われば事業も止めるという志の低い提案団体も現実として存在する。(60 代男性、中山間地域)
- 提案団体が固定化傾向。事業が例年の繰り返しで進歩していない。(70 代男性、平野部)

③ 地域の団体との連携による事業の実現につながる【26 件】

- 地域の団体、まちづくり団体、町内会、ボランティア団体等、横の連帯が無いので、各団体での議論に終わり、一つの目的に向かっての動きがわからないので何回か話し合うべき。(70 代男性、平野部)
- 仕組みの導入は、「地域協議会委員」は審査する人でない、共に考え実行する人につながるか

ら。団体等との交流・連携は重要。(70代男性、平野部)

- 一つ一つの団体の事業では、地域貢献となる幅が限られる。又、「モノ」に対する事業提案が多くなり、本来の地域活動支援事業から外れていってしまう。地域の上部団体から必要な事業にどのように使うかを検討いただき、その内容を協議会で精査すればよいのではないかと思います。(50代男性、平野部)

④ その他【25件】

- 地域の課題解決という目的が一緒なので、基本的には導入に賛同しますがプラス面、マイナス面共に多様な問題点、懸念事項が想定されます。導入にあたっては住民への丁寧な説明が必要で、危惧される点も多々あることから、極めて慎重な議論を要するものと考えます。(60代男性、平野部)
- 地域協議会の権限を地域の了解を得て強化していくことは、公募公選制と併せて「地域全体の利益を考える人材確保にも直結していく」と考える。(70代男性、市街地等)

《選択肢イの理由》

① 現行制度のままでよい、事業の趣旨と異なる【31件】

- 市民の皆さんが自発的、主体的に行う地域活動に対して支援するという趣旨の事業であるため。(70代男性、平野部)
- 当区は予算枠をオーバーする程提案が多く、活発な活動が行われており、現状の方法が良いと考える。(60代女性、中山間地域)

② 公平・平等ではない、公募でよい【27件】

- 地域協議会委員がよく知っている団体に対して有利に事業を進められるような気がするから。(50代女性、平野部)
- 公募した提案事業に対する公平性を欠いてはならない。(60代男性、市街地等)
- 限られた予算で、できるだけ多くの団体・地域に支援事業を取り組んでもらうには、今の公募制度で良いと思う。(70代男性、中山間地域)

③ 対応できない、懸念がある【23件】

- 現在の地域協議会が区内の課題を把握して優先的に解決をはかっているかが疑問である。(区民の理解が得られないのでは)(50代男性、平野部)
- 各団体での奪い合いに成りかねないし、発言力や力関係の強い団体の為だけになりかねない。あくまで提案内容重視で進めるべきで、小規模団体でも良い活動には援助すべきである。(60代男性、平野部)
- 課題と問題点を共有し共に活動(事業)を行うことは協議会委員に対しても負担が大きいと考えられる。(50代男性、市街地等)

④ その他【18件】

- 協議会側から地域課題の解決に必要と思われる団体に提案して公募する方法で充分だと思う。あくまでも公募で対応する。(70代男性、市街地等)
- まずは、公募で地域協議会が事業を認め、その事業に将来性があると認められ継続するためのものであるのであれば、市が行うべきであると思う。(60代男性、中山間地域)
- 現行、地域活動支援事業の内容は協議会が扱うことでは無く、自主的審議事項こそが本来だから。(80代男性、市街地等)

《選択肢ウの理由》

- 金額にもよりますが、他の提案者から不服がありそうです。(60代男性、市街地等)
- 制度の有用性がわからない。制度そのものがマンネリ化し、配分額を消化するため公共性に疑問符がつくものや一過性の事業等を採用する例が多く見られる。初心に帰り、制度そのものを見直すべきだと考える。(70代男性、中山間地域)

- 地域協議会というものの立場と役割を根本的に変えてしまうことにもなるため、慎重に検討したほうが良いと思います。(50 代男性、中山間地域)

(5) (a) 回答で「(ア) 考えてよい」とお答えいただいた方は、検討に当たり留意すべき点や提案(アイディア)があればご記入ください。

① 事業内容の精査、検討【20 件】

- 参加してもらう団体等を決め、どのような進め方をするか検討要。(70 代男性、市街地等)
- 事業を導入しても特定の人やグループだけのものではなく、多数の人が利用(あるいは楽しむ)できるものでなければならない。(70 代男性、中山間地域)
- 真に地域の課題解決になる提案か活性化や安全安心に結びついていくものなのか、又、限られた配分額の中でどのように共通理解を得るのか、緊急を要する課題であるか等々を委員間で討議し、留意点や基本原則をまとめることが重要である。(70 代男性、市街地等)

② 地域住民・団体等との意見交換、連携【17 件】

- 対等な関係で、互いを尊重し合って実施すること。協議会が発案したからと言って上から目線は NG。(自分が住む) 13 区においてはあり得ないことだとは思いますが。(60 代女性、平野部)
- 事業選択が地域協議会主導型は避けるべきだと思う。少なくとも地域との懇談の中から課題を見出す。(70 代男性、平野部)

③ 一定の制限、ルールの設定【16 件】

- 委員の選任方法はよくよく検討が必要と考えます。事業実施には、厳しくルールを則める事が必要。(例：委員の 3 分の 2 以上の同意書など)(50 代男性、中山間地域)
- 地区の配分額の何%を上限とするなどの規定が必要になります。(70 代男性、平野部)
- 自主的な活動の配分額が少なくなるなど、活性化を阻害することにもなる可能性もあることから、ルール作りが必要。(50 代女性、中山間地域)

④ 地域協議会(委員)の姿勢、役割【12 件】

- 留意すべきは「私的誘導」にならないこと。あくまで地域活性化と万人が認めるものでなければならない。(60 代男性、市街地等)
- 知見と見識を必要とするため、十分な研修と覚悟が必要。(70 代男性、平野部)
- 「委員の役割」に大きく関係するので少し時間が必要かも。(70 代男性、平野部)

⑤ その他【43 件】

- 全市一斉導入ではなく、可能であればまずは本件の導入を検討されている地域がモデルケースとして試行・運用し、その結果を踏まえ判断することが望ましいのではないかと考えます。(60 代男性、平野部)
- 課題を各種団体と協議するのも良いが、それなら課題を地域に発信して公募という形も取れると思う。それぞれの地域に合わせた方法の検討もある。(50 代男性、平野部)
- 実際問題として「直接地域の団体等と協議・調整を行う」ことは利害関係や団体間の公平性の確保、人間関係、委員の考え方の違いなどから不可能です。(70 代男性、市街地等)

◇ これまでの設問のほか、議論の結果の地域への貢献について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

① 地域活動支援事業について【31 件】

- この制度が導入されたことにより(予算化)地域の活性化が進められている事が一目瞭然である。良い制度と考える。(地域よりの提案は非常に大事で活性化が大いに図られる)(70 代男性、平野部)
- 観光等は広域的に取り組む場合もあり、区間合同の提案事業も是非必要です。(70 代男性、

平野部)

- 1 次募集で相当程度の残額があるにも関わらず 2 次募集をしないところがあります。数万円でできる事業もあるわけですので、提案団体のことを考えると少なくとも 2 次募集まではするべきです。(70 代男性、市街地等)
- 地域活動支援事業は効果が少なく、市の財政悪化を招く。(70 代男性、平野部)
- 結果の検証をしている委員が何人いるのかをみれば、いかに「事業」が地域の根本的課題に取組めていないかが分かる。(80 代男性、市街地等)
- 地域活動支援事業の採択は地域協議会の大きな業務となっている。採択は毎年 4 月～5 月(初年度は 5 月～6 月)の 2 か月でこの間、地域協議会はこの業務かかりつきりとなる。期間内はその他の課題・議論ができなくなる。地域協議会の関与を 1 回程度で済ませる様にならないか。(60 代男性、平野部)

② 行政等の対応について【16 件】

- 諮問については 4 年間で 5 件の諮問があり、審議が紛糾するような案件は無かったが、市からの報告事項に関しては、ほぼ最終段階での報告で、質問に対しての回答はいただけるが、地域協議会からの提案は受け入れられないものがほとんどである。地域協議会としての役割として報告事項であっても、地域の意見の反映として可能な部分は検討してほしい。(希望として)(50 代男性、市街地等)
- 市の職員も住民の一人として議論に入るべき。取り組みがあっても一住民として区の職員は参加したことがない。同一の区民として意見を出し、時には指導的な立場に立ってほしい。(70 代男性、平野部)
- 市議員は、傍聴に出向くこと。4 年在任期間中に、28 区をコンプリートして欲しい。(60 代女性、平野部)
- 他地区の取り組み、他市、他県の取り組み事例を色々紹介、提案してほしい。(60 代男性、平野部)
- 諮問事項の広域審議の必要があると認められる案件について、意見具申できる機会を与えてほしい。(70 代男性、平野部)

③ 地域協議会について【11 件】

- 市からの諮問事項の結果は行政に活かされているか。先に結論ありの感がする。(70 代男性、平野部)
- 「地域協議会だより」の発行を 2 ケ月に 1 回位に増やした方が良い。現在は年間 3～4 回で少ないと思う。(70 代男性、中山間地域)
- もっと諮問事項があると考えていたが、議論の場が少なかった。(60 代男性、市街地等)

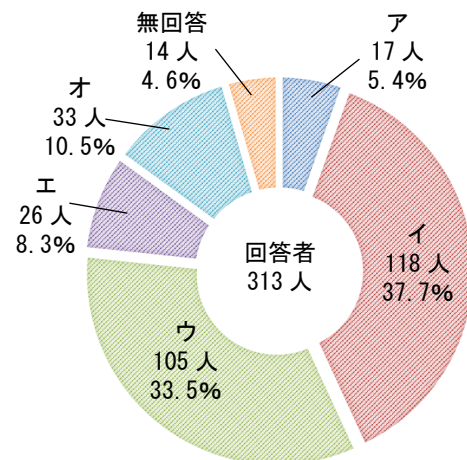
④ その他【7 件】

- もう「13 区」「合併前上越市」という区分けをやめるべきだ。28 区上越市なのでそのような区別は上越市としての一体感の醸成には邪魔である。それで 13 区が取り残されると感じるならそれは行政運営自体見直すべき点があるということだ。(50 代男性、市街地等)
- あまりすぐ成果を求めるのではなく、多様な世代や立場の方々が伸び伸び参加出来るようにすることがまず大事だと思います。(50 代男性、中山間地域)

Q5 地域協議会委員の人材確保について

- (1) あなたが属する地域協議会について、できるだけ多くの方から地域協議会委員に応募が行われるよう、地域協議会として、活動を住民や地域の団体の皆さんに知っていただく観点から、どのようにお考えですか。

ア 住民等に知っていただくことができた	17 (5.4%)
イ 住民等に知っていただくことが一定程度できた	118 (37.7%)
ウ 住民等に知っていただくことがあまりできなかった	105 (33.5%)
エ 住民等に知っていただくことができなかった	26 (8.3%)
オ よく分からない	33 (10.5%)



- (1)(a) 回答で「(ア) 知っていただくことができた、(イ) 一定程度できた」とお答えいただいた方は、どのような取り組みが活動を知っていただくことにつながったとお考えですか。

① 地域協議会だより等での周知【39 件】

- 当区の地域協議会だよりが年 4 回全戸に配布され、住民の方々が目を通して下さっているから。「頑張っているね」と励ましの言葉を頂いたりするから。(60 代女性、中山間地域)

② 地域との意見交換会の実施や自主的審議、意見書提出等の活動【32 件】

- 今まで毎年のように、区内 5～6 地区に出かけ地域協議会主催の地域懇談会を開催し地域ごとの問題点等を聞き地域との関わりを密にしてきた。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会での自主的審議からまちづくり振興会の設立に至ったので、地域の方には地域協議会のあり方を知って頂いたのではないかと。以前は地域活動支援事業の使い方を審議するだけの会と誤解している方も見受けられたが。(60 代女性、平野部)

③ 地域活動支援事業の審査・採択等【27 件】

- 地域活動支援事業の成果発表会 (70 代男性、平野部)
- 地域活動支援事業に関わっていることを知っている人が周囲に多くいるから。(50 代女性、平野部)
- 町内会で提案して採択された事業が地域活動支援事業からの予算であると町内会で周知したから。(60 代男性、平野部)

④ 地域住民や地域団体への活動の周知 (委員自身の所属団体等を含む)【22 件】

- 地域の町内会長会議の中で委員の公募の意義等を議論し、その必要性について概ね理解を得た。(70 代男性、平野部)
- 地域の会合等で協議会の活動の報告を行った。(60 代男性、平野部)

⑤ 活動報告会の開催【17 件】

- 活動報告会が設置され、4 年間 (あるいは在任期間) の報告がなされたことは住民にも共感を与えるとともに、新年度への委員募集の PR ができたと思う。(70 代男性、中山間地域)

⑥ 地域に出向いて地域協議会を開催【8 件】

⑦ その他【27 件】

- 長年実施してきて地域に根付いてきつつあるが、地域協議会委員の仕事は大変でボランティアの域を逸脱しており、人に薦めることが出来ない。(70 代男性、市街地等)
- 議事録等を閲覧されている方が思いのほか多くおられるようである。少なからずのご意見を頂戴する機会もあった。(70 代男性、平野部)
- 地域協議会委員に多くの方から応募していただく活動は地域協議会を所管する自治・地域振興課ならびに各担当事務局が行うべきではないか？(60 代男性、中山間地域)

(1)(b) 回答で「(ウ) 知っていただくことがあまりできなかった、(エ) でなかった」とお答えいただいた方は、知っていただくためにはどのような取り組みが必要とお考えですか。

① より一層の制度の周知、活動状況の開示【53 件】

- 活動状況をもっと定期的に報告していかなければならないと思います。(60 代男性、中山間地域)
- 地域の人たちとの会話の中で地域協議会の存在は知っていても、活動内容まではあまり知られていないように感じました。(50 代男性、中山間地域)
- 地域協議会だよりを工夫し委員の声や活動団体の声、活動紹介などを載せ、より親しみのある内容にしていく。顔が見えるような内容がほしい。そのために、各地域協議会の中で広報担当者を複数人決め、事務局と連携して取材活動を行うことも考えられる。(60 代男性、平野部)

② 意見交換会等の実施、地域団体等との交流・連携【13 件】

- 多様な世代や立場の方々との意見交換の場を作っていくことが必要だと思います。(50 代男性、中山間地域)
- 地域の団体との交流や地域活動への参加が必要では。(60 代男性、平野部)

③ 地域活動支援事業をきっかけにする【11 件】

- 地域活動支援事業に興味があるだけで地域協議会自体には興味なし。(60 代男性、平野部)
- 採択された地域活動支援事業の実施にあたり、「地域活動支援事業の活用により実施されます。」とパンフレットに加える、看板を立てるなどすれば知っていただけるのではと思います。(60 代男性、平野部)
- まず地域活動支援事業に参加していただいて、協議会の仕事を分かっていることが必要です。(70 代男性、市街地等)

④ 人材の発掘、委員の選任方法の見直し【6 件】

- 広く知らしめるポイントは委員の任期は一期(4 年)とし、全て新任する。委員になってこそ地域協議会のシステムを理解できる。(70 代男性、市街地等)
- 委員は地域で活躍する人を発掘し次期委員に育てていくことが大切。(70 代男性、市街地等)

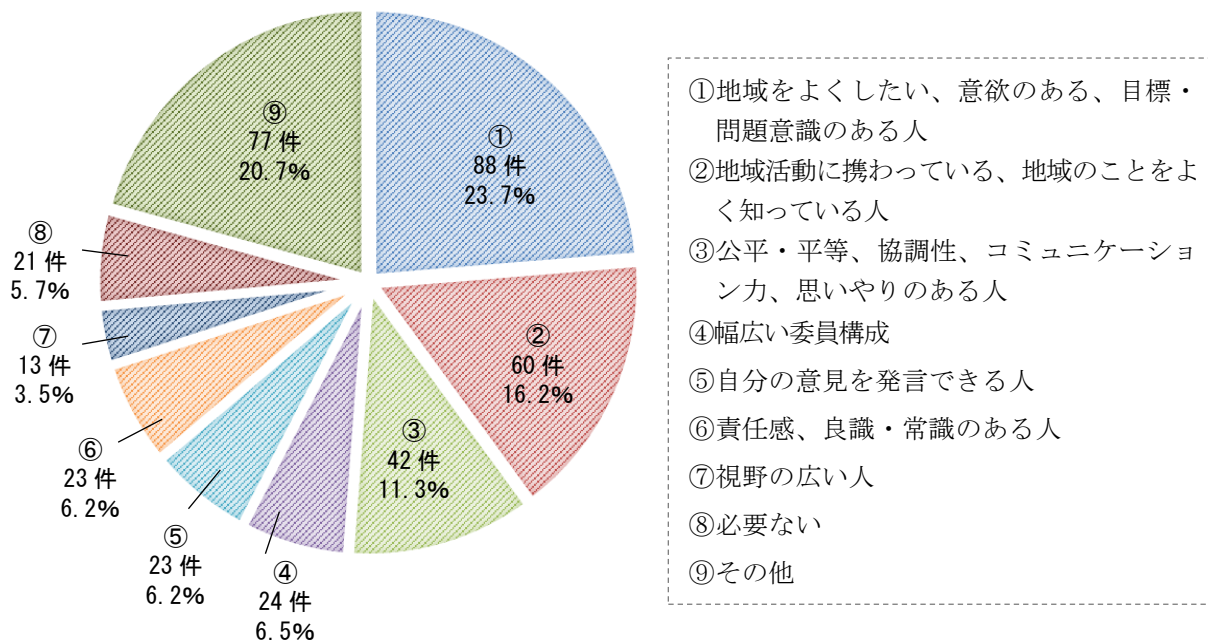
⑤ 市により働きかけ、PR【4 件】

- 多くの方は協議会が旧町議と似たものではないかと考えられているのではないかと思います。地域自治区のもとに協議会があるということを、制度を含めて市は市民に徹底してほしい。(70 代男性、中山間地域)

⑥ その他【45 件】

- 職場がエリア内である方も地域協議会委員の対象となるようにすること。(40 代男性、市街地等)
- 市長の諮問機関という役目で、すべきことがいまひとつわからないというのが正直なところです。(50 代男性、中山間地域)
- 旧上越市内でも 10 年以上地域協議会で委員が活動してきたのに、同じ町内でも関心がなく誰がやっているのか、何をやっているのか、興味のない人が大勢いると思う。(60 代女性、平野部)

(2) あなたの地域協議会委員としての経験から、これからの委員にどのような資質（知識や経験、姿勢など）が必要と考えますか。



① 地域のことをよくしたいと思う人、意欲のある人、目標・問題意識のある人【88件】

- 知識、経験よりも、まずまちづくりに対する熱意。知識、経験が議論の邪魔になることがある。(70代男性、中山間地域)
- 知識や経験は重要だが、それ以上に積極的に地域や住民のことを考え、話に参加する資質が求められる。(60代男性、平野部)
- 見ざる聞かざる言わざるではなく、見たい、聞きたい、言いたい人がよい。(70代男性、市街地等)
- 地域のことを考え、よりよくするために考えることができれば誰でも良い。(60代女性、平野部)
- 自分の住んでいる地域の事を考え“地域を良くしたい、活発にしたい、元気のある地域にしたい”そう思って頑張ってくれる人。(60代女性、平野部)

② 地域活動に携わっている人（経験者含む）、地域のことをよく知っている人【60件】

- 普段から地域を良くしようと活動している人。(70代男性、市街地等)
- 何らかのまちづくり団体に属している、或いは地域貢献活動の経験がある方に委員として参加してもらいたい。(70代男性、市街地等)
- ある程度地域に明るい人を選考していくことが大事だと思います。(60代男性、平野部)
- 各団体の代表者、民生委員、まちづくりや住民福祉会、町内会長等、日頃から思い感じていることが多いはず。(80代男性、中山間地域)

③ 公平・平等な人、協調性のある人、コミュニケーション力のある人、思いやりのある人【42件】

- 周りの人、他の団体の人の意見や気持ちを知らうとする人 (70代女性、中山間地域)
- 住民の声に静かに耳をすますことができる人ならそれで良い。(60代男性、平野部)
- 人の話を良く聞く事、又自分の話も聞いてもらう事、お互いに尊敬しあう事。(70代男性、中山間地域)
- 地域協議会は会社とちがい、基本的に同じ権利をもち、それぞれの立場で発言できる場ですので、お互いの意見を尊重でき、建設的な意見の言えるひと。(50代女性、中山間地域)

④ 幅広い委員構成（女性、若者、職業）【24件】

- 女性、若い人の参画がもっと必要である。(70代男性、平野部)
- 幅広い年齢層と多様な職種の人達から委員になってもらいたい。(70代男性、中山間地域)
- 農業、商業、工業等、専門分野の人から地域協議会委員になってもらい、幅広い委員構成に

より地域の活性化を議論していく必要がある。(70代男性、平野部)

⑤ 自分の意見を発言できる人【23件】

- 今までの古い考えにこだわらず新しい意見を持っていて、まわりにまどわされず意見でき、自分の考えに執着しない人がよいと思います。(50代女性、市街地等)
- 相手の話をよく聞きそのうえで自分の考えをきちんと言える人。(60代女性、平野部)
- 市の施策などが市民生活にどう影響するのか自分なりに判断しその考えを発言できること。(70代男性、平野部)

⑥ 責任感のある人、良識・常識のある人【23件】

- 良識・常識のある姿勢であってほしいと考える。(40代男性、市街地等)
- まず、出席する人(60代女性、平野部)

⑦ 視野の広い人(多角的な視点、客観的な視点、建設的な考え方)【13件】

- 個でなく全体が見える人(70代男性、市街地等)
- 地域の発展について、広い視野をもっている人(60代男性、中山間地域)

⑧ 必要ない【21件】

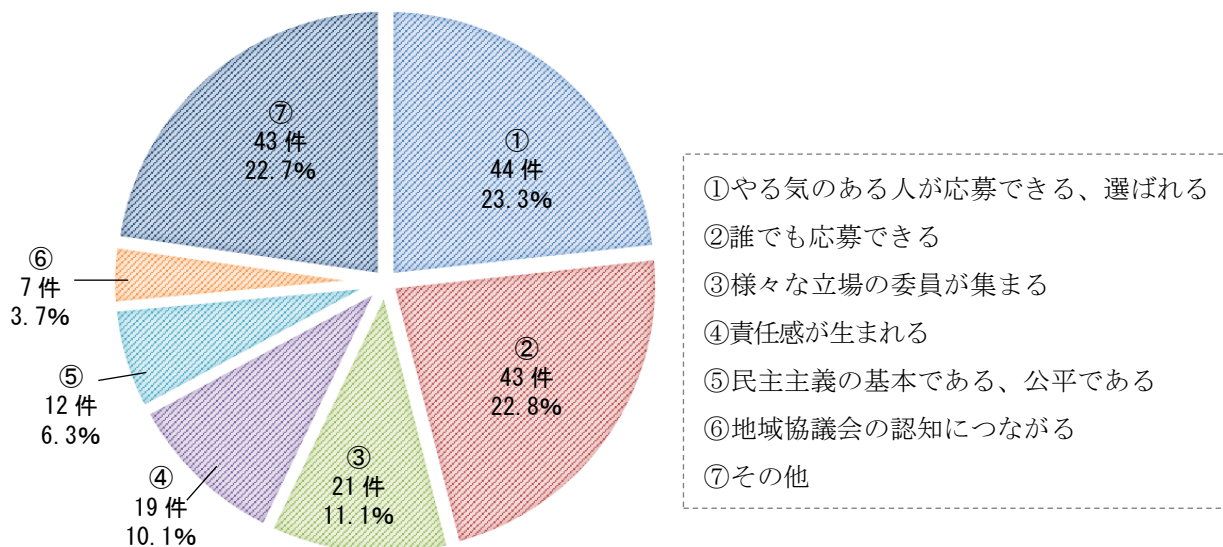
- 資質は市職員の助言とともに経験を積みばよいことであり、大切なのは参加する、話し合いをすること。(50代男性、平野部)
- 自分自身も何もわからない所から始まりましたが、知識や経験がなくても参加する事が大切だと思います。(50代女性、平野部)
- 初めから知識経験は無いわけですので、委員になられてから勉強会を頻繁に開かれたらいいのでしょうか。(70代男性、平野部)

⑨ その他【77件】

- 公募状況を見て、今は資質ウンヌンを問う段階ではない。(70代男性、中山間地域)
- 地域協議会の意義と役割に関心がある。(70代男性、平野部)
- もっと幅広い年代が議論できる会の組織作りと会議時間等の設定をしてもらいたい。(50代男性、市街地等)
- 多くの方々は、地域からの推薦等で出てこられると思います。自分の意思で参加を希望される人が良いと考えます。(60代男性、平野部)
- 地域活動には終わりが無いので、あせらずゆっくりと楽しめる人。(50代女性、中山間地域)

(3) 地域協議会委員を公募公選制で選ぶことについて、良い点や悪い点・困った点があればご記入ください。

《① 公募公選で「良かった点」について》



① やる気のある人が応募できる、選ばれる【44件】

- 本当に地域のために活動したいと考える人には良いと思う。(60代男性、中山間地域)
- 協議会は自治体の意思決定という重要な役割を果たしてきた。また、地域協議会が地域の課題を議論し、住民の意見を市に表明するための必須の基盤である。地域のために『汗をかく』人々の参加が公募公選の良い点と思う。(70代男性、中山間地域)
- 地域を良くしよう、もっと住みやすくしようという気持ちをもった積極的な人が集まる。(60代女性、平野部)

② 誰でも応募できる【43件】

- 自身の意思で立候補できること。(60代女性、平野部)
- 一般市民が誰でも手を挙げられるよう門戸を開いておくことが制度上保障されていることが良い。(70代男性、平野部)
- 機会均等でよい。(50代男性、中山間地域)

③ 様々な立場の委員が集まる【21件】

- 私は公募公選で委員が選任されるからこそ、自治会、町内会から出てくる委員とはまったく違った人たちが委員になる事ができる。この点が公募公選で広く委員を選任できる事に意義があると考えます。(70代男性、中山間地域)
- 多様な観点から問題の把握が出来る。(70代男性、市街地等)

④ 責任感が生まれる【19件】

- 自覚と責任感を持って応募してくるので良い事だと思う。(70代男性、市街地等)
- 自らの役割に責任が持てる。(70代男性、平野部)

⑤ 民主主義の基本である、公平である【12件】

- 公募公選制は正しいやり方だと思う。困ることが出たとしてもしょうがないです。民主主義国家ですから。(50代男性、平野部)
- 公平性や透明性を確保していく上で公募公選制は必要である。(60代男性、平野部)

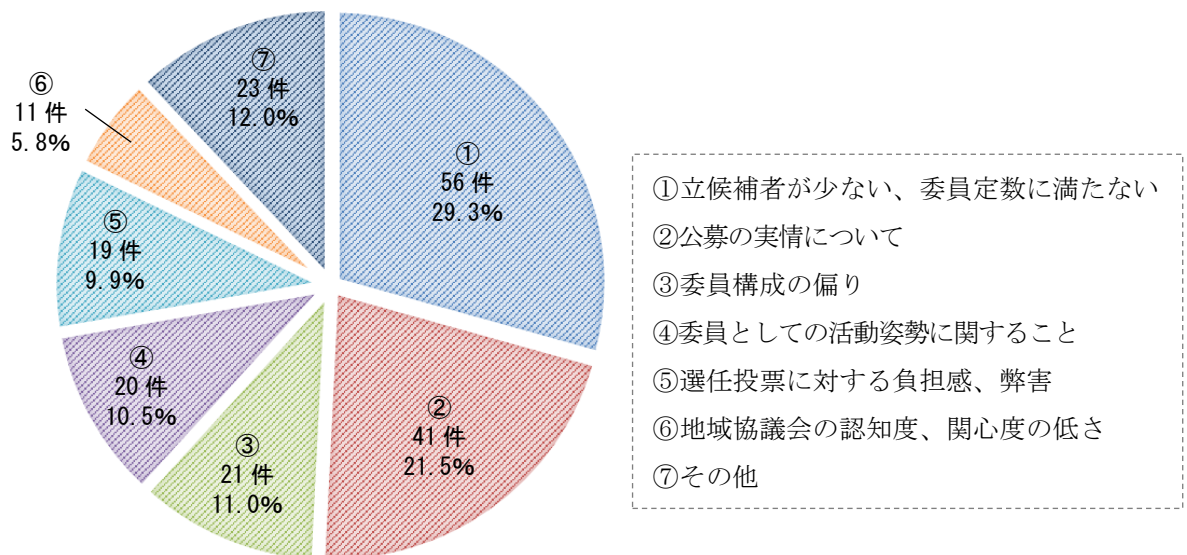
⑥ 地域協議会の認知につながる【7件】

- 広く一般の方から興味関心を持って地域協議会を知って頂く機会となる。(60代男性、市街地等)

⑦ その他【43 件】

- 当初から発言しているが、住所地だけではなく勤務地でも応募できたら良い。(50 代男性、市街地等)
- 「良かった」というよりやむを得ないのでは？(70 代男性、平野部)
- 当区では、現実的に町内会長が推薦の形になっている。(60 代女性、平野部)
- 決議を行う際に、地域の全ての住民を包括する様な代表性は公募公選でないと付与されないと思う。(50 代女性、中山間地域)

《② 公募公選で「悪かった点・困った点」について》



① 立候補者が少ない、委員定数に満たない【56 件】

- 公募公選は名目上で自らの立候補者はほとんどない。(70 代男性、平野部)
- 公募といっても自ら積極的に手を挙げる方は少ないと思われる。手を挙げたがらない。(60 代男性、中山間地域)

② 公募の実情について【41 件】

- 本来の自分の意思ではなく、町内会長から頼まれて仕方なく委員になった方が多い。(60 代男性、市街地等)
- 公募公選とはいっても自分で手を挙げる人は少なく町内ごとに人数が割り振りされている現実。(60 代女性、平野部)

③ 委員構成の偏り【21 件】

- 若い人達の応募が少なく、若い人達の思いがわかりにくいと思われます。(60 代男性、中山間地域)
- 地区推薦が中心でメンバーが代わり映えしない。(70 代男性、平野部)

④ 委員としての活動姿勢に関すること【20 件】

- 地域協議会委員の本来の役割と違う目的の方が入ってもチェック・選別できない。(50 代男性、市街地等)
- 自らの主張ばかり言い張り、対話にも議論にもならない人が出てくる場合がある。(60 代女性、平野部)
- 本人自ら応募された方はやる気十分だと思いますが、推薦の方は内容が分からずそのまま出てきているだけだと思う。(70 代男性、平野部)
- 意思決定にだけ関心のある人が集まってしまう可能性もあるのでは…。(50 代女性、中山間地域)

⑤ 選任投票に対する負担感、弊害【19 件】

- 選挙になることで相当な覚悟が必要となり、応募が気軽にできない。(40 代男性、市街地等)
- 公職選挙法に基づいている為、違反、罰則がついて回る為、「窮屈感」がつきまとった。制約条件（公選法）が多い為、どこまでが許容範囲が迷うことが多かった。(70 代男性、平野部)
- 定数を越えたとき選挙までして委員になりたいとは思わない。(70 代男性、市街地等)

⑥ 地域協議会の認知度、関心度の低さ【11 件】

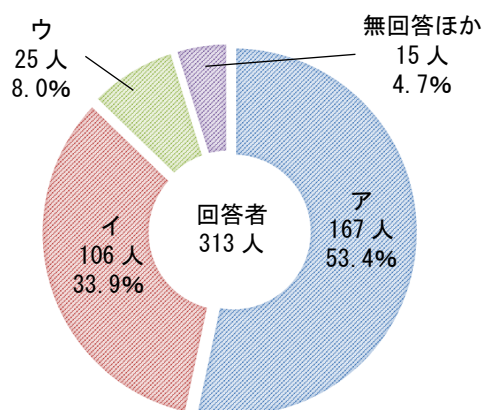
- 地域協議会自体の存在を知らなかった。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会の内容をよく理解しないまま引き受けてしまった。(60 代女性、平野部)

⑦ その他【23 件】

- 働き盛りの若い方たちに、無報酬で応募しろと言っても説得力に欠ける。(70 代男性、平野部)
- 地域の多様な人材が活かされていない。結果としてアイディアが生まれにくい。(60 代男性、平野部)
- 公募公選としていますが選挙を経っていない場合は住民の代表ではないと考えている人達がいいます。議員は選挙がなくとも選ばれた人と認知されていますので、選挙を経っていないからといって地域の代表性に欠けるという考えは払拭する必要があります。(70 代男性、市街地等)

(4) あなたは委員の任期（4 年間）について、地域協議会委員としての経験を踏まえ、どのようにお考えですか。

ア 今と同じで良い	167 (53.4%)
イ 今よりも短くした方がよい	106 (33.9%)
ウ よく分からない	25 (8.0%)



《選択肢アの理由》

① 適当、妥当【41 件】

- 活動を振り返り、4 年の任期が適当と考える。(70 代男性、平野部)
- 短くもなく長くもない為。(70 代男性、市街地等)

② 地域のことや地域協議会のことを理解した上で活動できる【40 件】

- 任期が 4 年あることで、委員として学び、発言することができると思う。委員同士が地域のこと等を理解し合うのにも時間がかかる。(70 代女性、中山間地域)
- 1、2 年では地域協議会のありようや、行政の仕組みが分からない。(70 代男性、市街地等)
- 前半の 2 年では新人委員は協議会のルール・仕切り・流れ等を覚えながらの活動が多く、後半の 2 年で前の 2 年間で学んだことを生かした多くの意見や考えの発信や活動ができる。(60 代男性、平野部)

③ 議論の結論、成果を出すためには必要な期間【39 件】

- 4 年間は長いと思うが、これくらいの時間がないと、地域の課題にしっかり向き合えないと思う。(50 代男性、市街地等)
- 調査して話し合って結論を導き出し、その内容を実行に持っていくには時間がかかるから。(70 代男性、市街地等)
- 任期 4 年は長いような気もするが、協議会として自主的審議事項の結果を出すには適当な期間かも知れません。(60 代男性、平野部)

④ 市議会議員と同じ任期のため【11 件】

- 選挙であるため市議会議員と同様にした方がよい。(70 代男性、平野部)
- 市議会議員は重要な市政全般、将来のあり方とし、地域協議会委員は地域に譲れる施策や予算などで役割分担を果たす為、両輪の任期を同一に。(70 代男性、平野部)

⑤ その他【16 件】

- 任期は原則連続なしとし、2 年毎に半数を改選する。(協議会のマンネリ化を防ぎ、多くの意見を取り入れるため) (70 代男性、中山間地域)
- 短くすると頻繁に交代することに繋がってしまう気がするから。(60 代男性、平野部)

《選択肢イの理由》

① 長い【24 件】

- 4 年間の委員活動は実際に経験してから長く感じる。(50 代男性、市街地等)

② 委員のなり手確保、新陳代謝のため【23 件】

- 若い人たちにまちづくりへの参画機会を今までよりも多く提供したほうがよい。(50 代男性、市街地等)
- 人がどんどん代わった方がもっと様々な課題に気付くことができる。早く代わった方が見方も変わり、新しいアイデアで問題解決への糸口がつかめる。(50 代女性、市街地等)
- 多くの方から地域課題を「自分ごと」として考えて頂くために 1 期 2 年程にして、継続も 2 期までとか、皆が経験すると協議会の知名度も向上するのではないのでしょうか？ (50 代男性、中山間地域)

③ 仕事、他の役職、家庭等により負担が大きい【14 件】

- 各種の役員として個人的な負担が多く、長すぎる。(60 代男性、中山間地域)

④ モチベーションが続かない【8 件】

- 今までは長過ぎて最後の 4 年目はあまり委員としての活動が少なくなり、課題についても勉強しなくなる傾向があるから。(70 代男性、平野部)

⑤ その他【11 件】

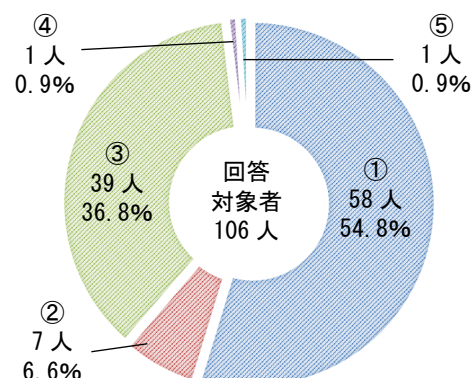
- 現行の 4 年は議員選挙に合わせたものであり、選挙による選出が定着しない現状であれば短くともよい。(70 代男性、平野部)
- 町内役員等、一般に 2 年任期である。(60 代男性、平野部)

《選択肢ウの理由》

- 地域の事を知るには丁度良い。課題解決にかかる時間は長い。委員として慣れるには短い。(40 代男性、平野部)

(4)(a) 回答で「(イ) 今よりも短くした方がよい」とお答えいただいた方にお聞きします。委員の任期は何年程度が適当とお考えですか。

①2 年	58 (54.8%)
②2～3 年	7 (6.6%)
③3 年	39 (36.8%)
④4 年	1 (0.9%)
⑤5～6 年	1 (0.9%)



《「2年」とした理由》

- 女性にとっても4年は長く、負担に感じる方も多いです。幅広い世代の方に経験していただき、まちづくりの活性化に尽力いただくためにも2年程度がよいと思います。(50代女性、平野部)
- 2年程度が集中力を持って活動出来る目安と考えます。(50代男性、中山間地域)
- 2年位の方が「2年しかないから!」と心を込めて一生懸命取り組むのではないかと思います。→会議の出席率上昇。(50代女性、市街地等)
- 立候補しやすいのではないかと。(70代男性、市街地等)
- 現状、町内役員は1期2年が主流です。(60代男性、市街地等)

《「2～3年」とした理由》

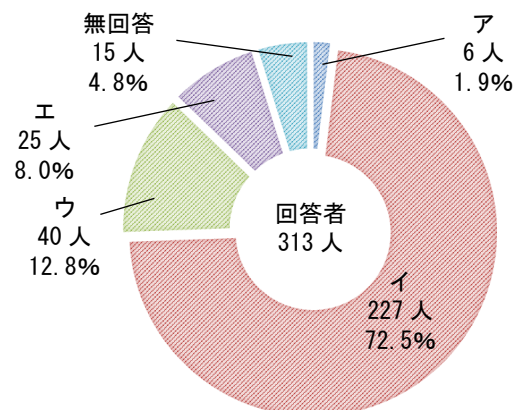
- 初任者3年、継続者2年延長が良いのでは?(50代女性、市街地等)
- 通常の会の役員は2年1期、民生委員は1期3年。(80代男性、中山間地域)

《「3年」とした理由》

- 2年だと短すぎる。4年だと長すぎる。3年が丁度良いのではないかと思います。(40代男性、市街地等)
- 2年目で内容が理解でき、もう1年その延長で仕事ができると思うから。(60代男性、中山間地域)

(5) あなたが属する地域協議会委員の定数(人数)について、委員の出席率を高め、会議での議論を充実する観点からどのようにお考えですか。

ア 今よりも多くした方がよい	6 (1.9%)
イ 今と同じで良い	227 (72.5%)
ウ 今よりも少なくした方がよい	40 (12.8%)
エ よく分からない	25 (8.0%)



《選択肢アの理由》

- 多様な人を集め、様々な視点から議論を進めたほうが良い。(収束しないリスクもあるが)(70代男性、中山間地域)
- 人口の少ないところはそれなりにというのは違和感を覚える。そういう所こそ地域活性化が望まれ、大勢で知恵を出す必要があるはず。(70代男性、平野部)
- 各町内から1名を選出していただき、町内会とのつながりを密にする。(50代男性、市街地等)

《選択肢イの理由》

① 適当、ちょうどよい【70件】

- あまり多いと会議が形式的なものになりやすく、また、少ないと緊張感が失われやすくなるので、現状が適当と思います。(50代男性、中山間地域)
- 地区の人口や町内会数等から考えても現状の定数が適当と思う。(70代男性、平野部)
- 現状の人数で会議の進行に支障がない為。(60代男性、平野部)
- 全地域に共通な委員数を確保して地域の人口に応じて委員数を増加させている現在の定数決定方法は、公正妥当なものとする。(70代男性、市街地等)

② 議論がしやすい、意見がまとまりやすい【45件】

- 会議を行う上でまとまりやすい人数だと思う。(50代女性、市街地等)

- 多くても意見がまとまりにくい。しかし少人数だと特定の方への意見が反映されてしまう。(60代男性、中山間地域)
- 部会等を設ける場合、複数人で行える。(60代男性、平野部)
- 会議で議論を進めるにはある程度の人数があってできると思うので今のままの人数は必要である。(60代女性、平野部)

③ 委員構成のバランスがよい【23件】

- 各町内からバランスよく選出されているから。(60代男性、平野部)
- 各地域から満遍なく出ていると思う。(50代女性、中山間地域)
- 年齢別にそろっていて、色々な意見が聞けた。(60代女性、平野部)

④ 委員定数と出席率は別の問題、委員の活動姿勢の向上【10件】

- 人数は多くしても少なくしても問題の解決にはならない。問題は「問題意識」を持っているか否かで人数の問題ではない。(60代男性、市街地等)
- 「委員の出席率を高め、会議の議論を充実させる観点」は定数問題とは乖離した問題であり、基本的には委員の地域自治制度や地域協議会の理解及び資質の問題である。(70代男性、市街地等)

⑤ その他【32件】

- 少数精鋭の面から届出者を優先し、市側で選任する場合、地域協議会にあまり関心がなく、消極的な人は無理する必要がないものと思う。(70代男性、平野部)
- 多すぎでは意見を言う人と言わない人に分かれるし、少人数すぎると民意を拾えない。意見が片寄る心配あり。(60代男性、平野部)
- 今よりも多くの委員を選出すること自体が困難。多くしても出席率が下がれば意味がない。(50代男性、平野部)

《選択肢ウの理由》

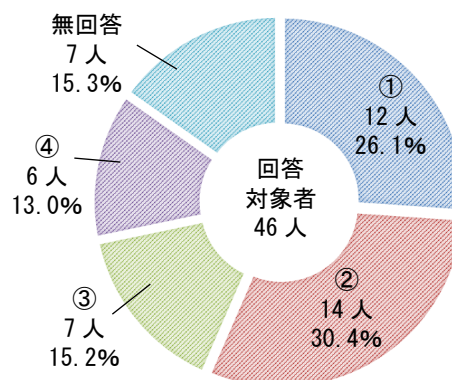
- 人口減なので少なくともよい。(70代男性、中山間地域)
- 会議に出席していても、議論に参加しない委員が多い。(70代男性、市街地等)
- 無理して人材を集めるより少ない人数で議論を深める。(70代男性、中山間地域)

《選択肢エの理由》

- 各区により集落(町内会)組織が異なっている中で、一律人口割が良いか疑問。各区の状況に合わせた加減が必要(学校区または数か所集落を1つとした様な中で1名の委員として計算(算出)するなど。(50代男性、中山間地域)
- 出席率と委員の定数との間に因果関係はないと思う。話しやすさから言えば少人数の方が良いが、広く町民の意見を吸い上げるには多い方が良い。バランスの問題だ。人数にこだわるのではなく、色々な立場の人が参加すべきだ。(50代男性、平野部)

(5) (a) 回答で「(ア) 多く、(ウ) 少なくした方がよい」とお答えいただいた方にお聞きします。委員の定数（人数）は何人程度が適当とお考えですか。

①10 人未満 （「8～10 人」を含む）	12 (26.1%)
②10 人以上 12 人未満 （「10～12 人」を含む）	14 (30.4%)
③12 人～14 人 （「12～15 人」を含む）	7 (15.2%)
④15 人以上	6 (13.0%)



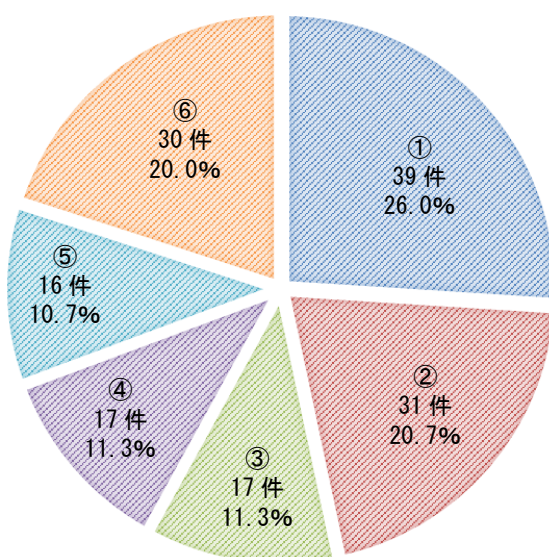
《12 人未満の人数とした理由》

- 委員が地域に貢献するようになる。(70 代男性、中山間地域)
- 定数を少なくして優秀な人材で密に内容等について審議して頂きたい。報酬を考えて下さい。(70 代男性、中山間地域)
- 小さい区では委員確保が難しい。(70 代男性、中山間地域)

《12 人以上の人数とした理由》

- 人口比で今の人数なのだと思うが、多い様に思う。全区一律に 12 人程度で良いと考える。人数より質である。(50 代男性、市街地等)
- 人数は奇数 (40 代男性、平野部)

◇ これまでの設問のほか、地域協議会委員の人材確保について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。



- ①委員構成、人材に関すること
- ②報酬の支給、費用弁償の増額が必要
- ③委員の選任方法に関すること
- ④地域協議会の周知に関すること
- ⑤若年層、女性の参加に関すること
- ⑥その他

① 委員構成、人材に関すること【39 件】

- 町内会長（経験者を含む）、市議会議員経験者などの方ではなく、一般の方を多く委員に入れた方が良いと思う。(40 代男性、市街地等)
- 各区で委員の固定化が進んでいると聞いている。又、町内会長がそのまま委員を兼任している区もあるらしい。質の高い人材の発掘が急務。人数さえ多ければ（そろえば）いいという有り方に疑問を感じる。(70 代男性、市街地等)
- 将来的に町内会長が委員の半数以上になったり行政経験職員が相当数を占めたり議員経験者が委員の中心になったりということが想定されます。これらは必ずしも良いこととは思えませ

るので何らかの検討が必要です。(70 代男性、市街地等)

- 人材確保について当区の職員は苦慮されていると思います。委員の定数を人口割する意味は全くありません。もし、「委員の一票が地域活動支援事業の区の配分額を決定する」のであれば別ですが、委員が少なくてもまちの課題を見つけて解決に向けて動けるなら定数は数名でも良いと思います。(50 代男性、平野部)
- 人口の少ない地域では、優秀な人材は複数の役職を兼職しているために応募する人が少ない。(50 代男性、中山間地域)

② 報酬の支給、費用弁償の増額が必要【31 件】

- 優秀な経験者や人材を確保するには、手当もなくボランティアでは人材確保が難しい。改める必要がある。午後 10 時 11 時までの会議も多々ある。(70 代男性、市街地等)
- 人材確保とは関係ないが、費用弁償はもう少し上げてよいのでは。委員会など活動をすればするほど持ち出しになる。(60 代女性、平野部)
- 委員会を設置し議論を進めるにあたっても午後 6 時以降、休祭日に限られる。会議参加率を上げるには委員数を減らし、手当を増やすのも一案である。(60 代男性、平野部)

③ 委員の選任方法に関する事【17 件】

- 山間部は人口が少なく何かにつけ個人の負担が大きい。中心部は公募で良いと思うが、その他の地域の選出方法はその地域に任せるべき。(50 代女性、中山間地域)
- 一般枠、地域団体枠での人材確保、又は一般枠には一定程度の条件を設けるべき。(例：数名又は地区等の推薦など) (50 代男性、中山間地域)
- 書類審査を厳しくし、人材の向上をはかる。(70 代男性、中山間地域)
- 市の OB、地域で活躍している人をお願いした方が良い人材が集まると感じる。(70 代男性、市街地等)

④ 地域協議会の周知に関する事【17 件】

- “地域協議会”の制度があること。それにより様々な活動ができることをもっとアピールしなければ委員の人材確保はできません。とにかくこの制度がある事をあまりにも知らなすぎます。4 年に 1 回ポスターで募集をチラシで周知をといっても日頃の周知がないから中々難しいのが現実。(60 代男性、市街地等)
- 地域の代表のようなイメージは払拭されつつありますが、これからは地域協議会委員になることが若者や女性の願いを実現できる力を持っているとアピールする公募の広報を工夫していただきたい。(70 代男性、中山間地域)
- 元気に活動している団体、個人をもっと評価。積極的に紹介する。(新聞、JCV、有線放送、SNS 等) やる気を出させるには叱咤激励及び評価が必要。それを世の中に知らせることで後継者が出てくる。(60 代男性、平野部)

⑤ 若年層、女性の参加に関する事【16 件】

- 地域協議会委員は特に女性委員が少ないので定数の何割かは女性に限る等の規定を設けてはと思う。(60 代男性、平野部)
- 女性枠、若者枠などを想定できないため、男性高齢者が多いが、欠員の場合は、女性と若者から選んで欲しい。意識的に、女性を 30 パーセント入れるようにして欲しい。(60 代女性、平野部)
- 若い方や女性の方も地域活動を通じて社会に貢献したいと考えている方は多く、条件さえ整えば参加を検討できる方もいると思います。しかし、特に山沿いの地区においては、男女の役割感、家庭感等の意識風土が根強くあり、しくみはあるけれど“参加しづらい”“活躍しにくい”と見えているのではと思います。また、若い方や女性方にも課題はあり、活躍するための技術や能力の向上の取り組みは必要だと思います。(50 代女性、中山間地域)

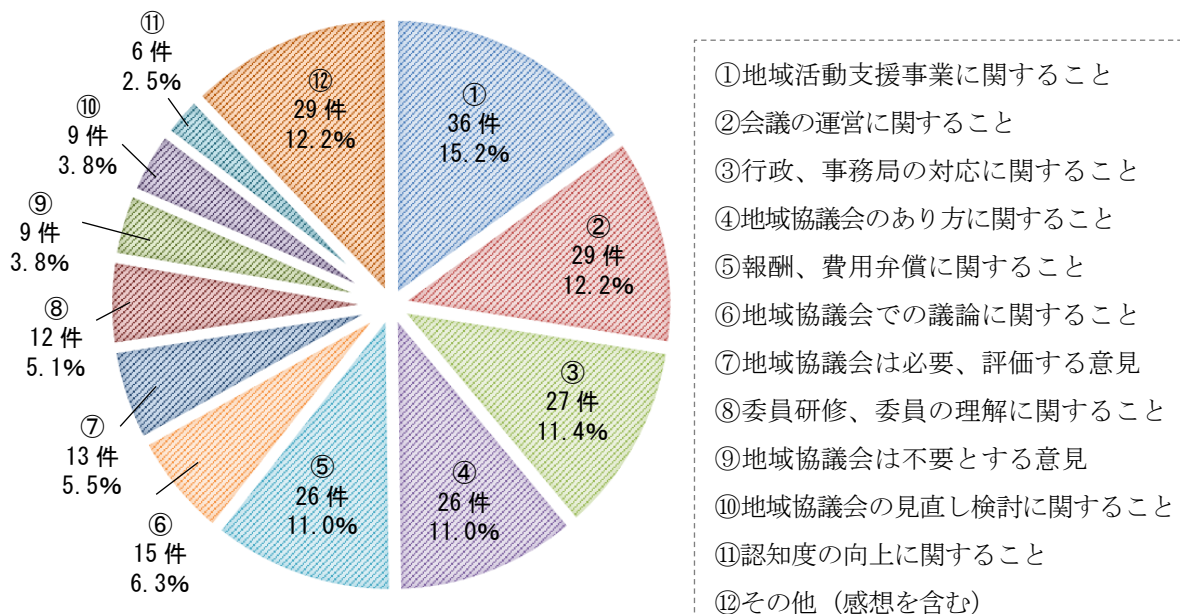
⑥ その他【30 件】

- 報酬を出せとの声も耳にするが、無報酬を貫くべきだ。なぜ地域協議会があるのか、くどい位話すべきだ。地域自治について。(70 代男性、中山間地域)

- 諮問等ポジティブな内容がない。(人口減の地域に夢を与えられるものがないものか) (70代男性、中山間地域)
- 地域協議会を、地域の人達から見ると、何を目的に、何をしようとしているのか見えない。地域協議会が地域にどのように関わっていくのか、町内会、各団体との間柄は、問題解決にリーダーシップを発揮できるのか。単なる議論の場なのか。各地域の不平、不満の空気抜きではないのか、などの考えの人もいて、様子見の「優秀の人達」もいるのではないのでしょうか。(70代男性、市街地等)

その他

◇ これまでの設問のほか、地域協議会の制度や運営等に当たり市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。



① 地域活動支援事業に関する事【36件】

- 少子化のため、スポーツクラブ等は地域のみでは存続ができない。その結果、複数の他地区との合同で活動しているのが現状である。複数の地区にまたがる団体にも地域活動支援事業に応募した際は採択していただきたい。そうでないと地域活動支援事業に不公平感があると思う。(60代男性、平野部)
- 提案団体はこの制度で自主性が生まれ、元気が出てきていると感じている。この制度は継続していくべきである。(70代男性、市街地等)
- 区として予算をいただき、各種団体が活発に活動できたと思います。今のままの制度で良いとは思いませんが、今後も各区に予算が配分される制度は区内を活性化するためには絶対に必要だと思います。今は縮小傾向にある、お祭りや運動会など地区民、皆で参加できる行事等を実施するためには有効な制度だと思います。(70代男性、平野部)
- 地域活動支援事業は当初の目的から逸脱したように感じる。活動を継続するには、今一度原点に立ち返り、再スタートするべきと感じる。必要とするべき人達の負担を軽減し活用できる制度になればと思う。(60代男性、平野部)
- 採択については委員に対しての時間的負担・実務的な負担が大きく、募集や採択ルールを検討を含めると年間の中で相当の時間を要する。その分、自主的審議や地域の課題の議論をする時間が減ることから、是非審査と採択については市で行ってほしい。(50代男性、市街地等)
- 地域活動支援事業は制度が出来てから相当年経ちますので、当初の制度設計時には想定されていなかったであろう事象も出てきています。同じ内容でもある区では認められてある区では

認められないという不公平感と税金の使い方としてどうかという疑問が市民の間に出てきています。1.8億円を使用することにも批判が出てきています。制度としては一定の役割を果たし成果を見たので、ここで予算の減額を含めて抜本的に見直す必要があると考えます。市民の元氣出しを促すような使い勝手の良い手軽な補助金制度をつくる必要があります。(70代男性、市街地等)

- 地域協議会の役割は地域活動支援事業の審査が主なものと思っている人がいるため自主審議事項に力が入りにくいことも事実です。支援事業の審査はブロック単位に別の組織を作って行うことを検討してください。審査に関する不公平感はある程度解消されます。(70代男性、市街地等)

② 会議の運営に関すること【29件】

- 会議を円滑にする為、少なくとも数日前に資料配布し、委員が準備する時間を設けてほしい。会議の進行は会長がする規定を変更してほしい。(進行だけでも行政が実施されてもよい)(50代男性、平野部)
- 会長会議について、28区で一堂に会してやるのも必要だが、13区と(15区の間には)意識にずれがあり議論にならない。(自治区が13区のみ時代には)正副会長が集まって開催していたときは良かったと聞くので、次期は、13区の正副会長会議を復活して欲しい。(60代女性、平野部)
- 毎回1時間程度の協議時間が設定されていますが、協議の内容を深めようとするゆとりもなく時間切れという会が多い。熟議をするための運営の工夫が必要。運営上、仕方のないことかもしれないが、会長主導の協議が多い。委員としての意見をもっと出すことのできる会議運営が望ましい。(60代女性、中山間地域)
- 協議時間が不足していると思う。勤め人もいるので土曜日など休日を利用してもう少し時間を多くしてはどうか。(70代男性、市街地等)

③ 行政、事務局の対応に関すること【27件】

- 当区は農村地域で地域の住民は皆保守的で手を挙げて意見が出にくい協議会をサポートして頂いたまちづくりセンターの職員の皆様に感謝しています。(60代女性、平野部)
- まちづくりセンターの役割として、市の組織を横断的に情報収集や提言をしていくとされた始めの姿から後退しているように思えた。(70代女性、中山間地域)
- 28区で地域協議会を担当する職員の皆さんにはいろいろな悩みや困ったことがあるはずです。すでに行っているかも知れませんが、担当職員の意見交換の場を作って困ったことなどの情報交換の場を作ってレベルアップを図ってください。(70代男性、市街地等)
- 12年間委員として住んでいる区の諸問題に取り組み議論してきましたが、当区の立場として何も変わらず、いや益々住み難い様になった。区民の皆様、もっと声を出し合っていくことが必要だと思います!!市職員の皆様をお願いします。もっと地域に出向いて意見交換をできる機会をお願いします!!(70代男性、中山間地域)

④ 地域協議会のあり方に関すること【26件】

- 制度の発足により協議会が活発に運営されている地域とそれなりの地域との差が明確になりつつある。協議会の自主性、自立性を尊重するのも良いが、現状を看過するのではなく育成することも必要だと考える。(60代男性、市街地等)
- 今まで通り、自主性を尊重した協議会運営でいいと思います。地域住民の考え方、方向性と行政の方向性が違っていたり、予期しない形になっていきそうになった場合、どのように案件を取り扱うか慎重に寄り添ってお願いします。(60代男性、中山間地域)
- 各協議会の地域の範囲を広げたほうがいいのか。協議会の数を細かすぎると、市が描く全体の姿から、離れていく可能性もあるのでは。(70代男性、市街地等)
- この制度がいつまで続くかわからないが、各地域だけに固執せず隣接地域との連携を考える事も必要なのではないかと思います。(60代男性、市街地等)

⑤ 報酬、費用弁償に関すること【26 件】

- 市からの諮問事項や検討事項等も含まれるので、当該会議が行われるような時は一定の報酬があってもよいのではないか。会議によって報酬がある場合があってもよいと思う。(60 代男性、平野部)
- 委員に報酬はなく交通費相当額のみ支給されていますが、他の委員会等の委員の待遇と余りにも違いすぎます。ある意味で他の委員会等の委員よりも責任が重く重要な役割を担っていますので他の委員会等の委員と同等の待遇が必要です。特に会長、副会長は協議会の運営に関して努力と苦勞がありますのである程度の手当が必要です。(70 代男性、市街地等)
- 地域協議会の委員は、ボランティア活動という認識ですが、自主的審議事項の検討委員会で活動する中で、委員の自己負担が発生している。見て見ない振りではないでほしい。(70 代男性、平野部)

⑥ 地域協議会での議論（諮問、自主的審議事項等）に関すること【15 件】

- 諮問・報告・自主的審議の説明を頂いた際、質問に対しての返答で予算が確保できないので難しい。市長の選挙公約なので、当选した時点で市民には承認されている。等の説明をされることがあるが、こちらは少しでも良くなることを考え議論しているのであり、最初から無理だと言われると議論をすることがどうかと思う時もある。(50 代男性、市街地等)
- 諮問での説明内容と実施内容に違いがある事がある。途中で変更となった場合にはせめて説明・報告をしてもらいたい。答申させ終わればその後は関係ないみたいな部分も感じられ、何のために真剣に議論したか残念に思うことがある。(50 代男性、市街地等)
- 地域協議会は市の諮問・答申、各地域の課題について意見書の提出等、市長に直接意見をのべられる機関となっているが、市長と直接話し合う機会がない。任期中に市長との会談を設定願いたい。(60 代男性、平野部)

⑦ 地域協議会を必要とする意見、評価する意見【13 件】

- 今後、地域協議会の存続を自主的審議事項の課題として議論していただきたい。知名度もない、魅力もない、応募も少ないではなくてよいという意見もある。発展的解消の選択肢もある。又、他市にない当市特別の制度であり、市長に直接意見ができるのは唯一この協議会である。ぜひ存続の期待もあるので長い時間をかけて審議していただきたい。(60 代男性、平野部)
- 地域協議会委員が色々な協議を通して自ら地域活性化や課題解決に取り組む契機になっていく側面もあるのではないかと。むしろ、人材育成の場になっていくことが望ましいと思う。委員の任期が終わっても地域で活動していくことになれば素晴らしいと思う。(60 代男性、平野部)

⑧ 委員研修、委員の理解に関すること【12 件】

- 先進地視察制度がありますが、その研修結果が活かされているように見えません。(70 代男性、平野部)
- 地域協議会は行政のパートナーですがこのことをよく理解していなくてお目付け役だと思っているような区があります。住民の皆さんと行政をつないで地域の課題解決を図るという役割をしっかりと認識していただく必要があります。(70 代男性、市街地等)

⑨ 地域協議会を不要とする意見【9 件】

- 地域協議会自体の見直しが必要。本当に役に立っているのか今一度考えるべきでは？(70 代男性、中山間地域)
- 協議会に参加し今まで知らなかったことなどを少しはわかったように感じましたが、この取り組みは地域全般に浸透しているとは思えません。個人的な意見としては、この税金をもっと必要な方面に回せたら良いのではないかと思います。(50 代女性、市街地等)

⑩ 地域協議会の見直し検討に関すること【9 件】

- 地域協議会の制度をもう一度考え直した方が良い。(存続、廃止を)(70 代男性、平野部)
- このアンケートを参考にして今後の地域協議会のあり方や改善に向けて検討していくことと

と思いますが、行政や学識経験者だけでなく有識者や改善等に向けて強い意欲のある地域協議会の委員や委員の経験者を公募することとしてください。(70代男性、市街地等)

- 13 区の事務局は一つの協議会のみ担当すれば良いのですが横の目通しができないことと事務的に効率が良くないことが考えられます。市内を 5 つ位のブロックに分けて 1 センターが複数の協議会を持つシステムの検討をお願いします。(70代男性、市街地等)

⑪ 認知度の向上に関すること【6 件】

- 地域協議会の制度が出来て 10 年以上経つが認知度、評価がまだまだ低い。知名度を上げる努力をもっともっとしてほしい。(60代男性、平野部)

⑫ その他（感想を含む）【29 件】

- 地域協委員を経験して職員のみなさんと意見交換したり、地域の実績を聞いてもらうだけでも満足感が得られ、市とつながっていることを意識できることを知っていただきたい。(70代男性、平野部)
- 全体を通じ、「市に伝えたいことがあれば…」の姿勢には辟易する。そうしたことを毎回の地域協議会で伝えていることが全く分かっていないとしか言いようがない。こうしたアンケートを実施する以前に現場でその“声”に耳を傾けるべきでしょう。ちなみに主管課としてどのくらい地域協議会を傍聴しているのかお答え頂きたい。HPや伝聞では「市に伝えたいこと」は伝わらないと思います。(60代男性、中山間地域)

○ アンケートへのご協力をお願い

日頃より、地域協議会活動にご尽力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

平成 17 年 1 月の市町村合併に併せて創設した地域協議会制度は、本年で 16 年目を迎えました。市ではこの間、公募公選制や自主的審議事項など、住民の皆さんや地域協議会の主体性の発揮を前提とした仕組み等を導入し、委員の皆様から熱心に活動していただいたことも相まって、これらの仕組みは一定の役割を果たしてきました。

こうした中、本制度を取り巻く環境に目を転じますと、少子高齢化が急速に進行し、市民の生活様式や価値観が多様化する一方で、安定的で持続的な行財政の基盤を整える行政改革の取り組みが急務となっています。また、地域社会においても、地域の行事や防犯活動など様々な分野で、それぞれの活動に関わる人材の不足が問題となるなど、地域の皆さんが抱える課題が多く存在しており、これらをひとつひとつ解消していくことが求められています。

このため、市では地域協議会委員の皆さんとともに、地域協議会が地域にとって更に貢献していくことができるよう、現状を振り返りながら、今後のあり方を検討したいと考えています。

つきましては、このたび全ての地域協議会委員を対象にアンケート調査を企画いたしましたので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、委員各位の率直なご意見、お考えをお寄せくださるよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

※ 本アンケートでは、委員の皆様が率直なお考えを記載できるよう各設問に自由記述欄を設けております。

また、ご回答の内容を地域別、年齢区分別など、さまざまな角度から傾向を分析すること、併せて具体的なお提案等があった時に個別に詳細をお伺いする場合があることから、記名式で実施しております。

ご記入いただいた内容は、回答者のお名前を明らかにして外部へ提供されることはありませんので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ 不明な点がございましたら、総合事務所・まちづくりセンターのほか、次の担当までお願いいたします。

[連絡先] 自治・地域振興課 風間、橘（電話番号 025-526-5111 内線 1584、1429）

○ ご回答は、総合事務所・まちづくりセンターから委員の皆様をお願いする日までに提出をお願いします。

月 日（ ）まで

お名前と地域協議会名について

○ ご回答いただく方のお名前と地域協議会名をお願いします。

お名前	
地域協議会名	区地域協議会

アンケート項目一覧表

設 問	頁
1 地域協議会委員としての活動を振り返って	
(1) 活動に参加して良かったこと、悪かったこと	3
(2)① 活動に参加する上で、支障となったこと	3
② 支障となったことの解消・工夫方法	3
2 地域課題の把握方法について	
(1) 個人として地域課題を把握するために取り組んでいること	4
(2) 地域協議会として地域課題の把握に対する評価	4
(3) 地域の団体との定期的な意見交換の機会の可否	5
3 議論の進め方等について	
(1) 意見書提出までの過程で苦労した点、工夫した点	6
(2) 自主的審議の進め方	6
(3) 地域を元気にするために必要な事業(元気事業)の認知度	8
(4) 自主的審議事項における参考人(オブザーバー)招致の可否	9
4 議論の結果の地域への貢献について	
(1) 地域の団体との連携を通じて課題の解消に向けて取り組むこと	1 0
(2) 地域協議会が地域の団体との連携等に必要なこと	1 0
(3) 地域協議会での議論の結果の地域への貢献度	1 1
(4) 地域活動支援事業で採択した事業の地域への更なる貢献	1 1
(5) 地域活動支援事業に地域協議会提案事業枠を設置することの可否	1 2
5 地域協議会委員の人材確保について	
(1) 地域協議会としての地域への活動周知	1 3
(2) 委員に必要な資質	1 3
(3)① 公募公選で良かった点	1 4
② 公募公選で悪かった点、困った点	1 4
(4) 委員の任期	1 5
(5) 委員の定数	1 6

ご回答の際の注意点

- ① 各委員の回答の条件を合わせるため、複数の任期をお務めの委員の方も、回答の対象とする期間を現任期の開始後（平成 28 年 4 月～）とします。
- ② 本アンケートは、令和元年 12 月末時点で作成しています。
- ③ 回答では、選択肢（ア、イ等）にマル印を付けるものと、自由に記述するものがあります。また、「その他」に該当する場合は、具体的にその内容を（ ）にご記入ください。
※回答にマル印を付ける設問では、印を付ける数を「ひとつだけ」か「複数か」を表示しています。

～ 以降、設問となります ～

Q1 地域協議会委員としての活動を振り返って

- (1) あなたが地域協議会の活動に参加し、あなた自身のことで良かったこと、悪かったことをご記入ください。（箇条書きで結構です）

（記入欄）

《良かったこと》

・

《悪かったこと》

・

- (2)① あなたが地域協議会の活動に参加する上で、これまで支障となったことをご記入ください。（箇条書きで結構です）

（記入欄）

・

- ② その支障となったことをどのように解消・工夫して委員の活動に取り組んできましたか。（箇条書きで結構です）

（記入欄）

・

- ◇ これまでの設問のほか、地域協議会委員としての活動を振り返って市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

(記入欄)

※引き続き、Q2にお進みください。

Q2 地域課題の把握方法について

- (1) あなた自身が、住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握するために、何か取り組んでいることはありますか。(○はひとつ)

ア 取り組んでいることはある →設問(a)へ

イ 取り組んでいることはない

- (a) 回答で「(ア) 取り組んでいることはある」とお答えいただいた方は、どのような取り組みをしているか教えてください。(箇条書きで結構です。取り組みの内容や頻度(又はタイミング)、把握する対象者などを記入してください。)

(記入欄)

・

- (2) あなたが属する地域協議会について、住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握する機能を果たせていたと感じますか。(○はひとつ)

ア 地域課題を把握し、議論に反映することができていた

イ 地域課題を把握したが、議論に反映することはあまりできなかった

→設問(a)へ

ウ 地域課題を把握することがあまりできなかった →設問(b)へ

エ よく分からない

- (a) 回答で「(イ) 地域課題を把握したが、議論に反映することはあまりできなかった」とお答えいただいた方は、議論に反映するためにどのような工夫が必要とお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (b) 回答で「(ウ) 地域課題を把握することがあまりできなかった」とお答えいただいた方は、地域課題を把握するためにどのような工夫が必要とお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

.

- (3) あなたが属する地域協議会について、住民や団体の困りごとや不安なこと等の地域課題を把握するために、地域の団体※と定期的に話し合う機会を設けることについて、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

※ 地域の団体：まちづくり団体や町内会、ボランティア(的な)団体など

ア 定期的に設けた方がよい

イ 地域協議会で自主的審議事項のテーマを検討するためなど、地域協議会が必要とするタイミングで行うことがよい

ウ 話し合う機会を設ける必要はない

エ その他

(具体的にご記入ください)

)

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

.

- ◇ これまでの設問のほか、地域課題の把握方法について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

(記入欄)

※引き続き、Q3にお進みください。

設問(1)は、これまで、意見書のとりまとめを行った地域協議会の委員を対象に伺います。

(対象)高田区、金谷区、浦川原区、柿崎区、頸城区、吉川区、中郷区、板倉区及び三和区（9 の地域協議会）※頸城区は「地域を元気にするために必要な提案事業」の実績あり

- (1) あなたが意見書の検討・とりまとめに向けた過程で苦勞した点や工夫した点がありましたか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

設問(2)は、これまで、意見書のとりまとめには至っていない地域協議会の委員を対象に伺います。

(対象)新道区、春日区、諏訪区、津有区、三郷区、和田区、高士区、直江津区、有田区、八千浦区、保倉区、北諏訪区、谷浜・桑取区、安塚区、大島区、牧区、大潟区、清里区及び名立区（19 の地域協議会）

- (2) あなたが属する地域協議会について、自主的審議はどのように進められているとお考えですか。(○はひとつ)

ア 地域の中で解決に向けて取り組むことを目指して議論が進められている

→設問(a)へ

イ 意見書のとりまとめに向けて議論が進められている

ウ 結論をまとめるための議論が進められているとは言えない

→設問(b)へ

エ よく分からない

- (a) 回答で「(ア) 地域の中で解決に向けて取り組むことを目指して議論が進められている」とお答えいただいた方は、どのような取り組みをお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

(b) 回答で「(ウ) 結論をまとめるための議論が進められているとは言えない」とお答えいただいた方は、自主的審議が地域協議会としての結論を出すことに向かって進んでいないことについて、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

ア 肯定的に考えている

イ 肯定的には考えていない

ウ その他

(具体的にご記入ください)

)

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

設問(3)は、これまで、地域を元気にするために必要な事業（元気事業）の事業提案の無かった頸城区以外の地域協議会の委員を対象に伺います。

(3) あなたは、元気事業について、どの程度ご存知ですか。(○はひとつ)

ア 地域協議会委員の手引き（P10）に掲載の内容程度は知っている

→設問(a)へ

イ 名前は聞いた（見た）ことがあるが、内容はよく知らない →設問(b)へ

ウ このアンケートで聞かれるまで存在を認識していなかった →設問(b)へ

エ その他

(具体的にご記入ください)

)

(a) 回答で「(ア) 手引きに掲載の内容程度は知っている」とお答えいただいた方は、あなたが所属する地域協議会で自主的審議に取り組む中で、元気事業の活用が進まなかった理由をどのようにお考えですか。

また、元気事業の活用を進めていくためには、どのようにしたらよいですか。

(理由の○はいくつでも。活用に向けたお考えは、箇条書きで結構です)

ア 取り組み方の基本的なイメージや方法等が委員の多くで共有できなかった

イ 議論を進める上で、元気事業の活用を想定していなかった

ウ 元気事業を進めた場合に連携や調整等の相手先となる地域の団体等の存在がよく分からなかった

エ 元気事業を進めた場合に連携や調整等の相手先となる地域の団体等から協力を得られないと思った

オ 元気事業の活用に向けて、地域協議会で議論を主導する委員がいなかった

カ その他

(具体的にご記入ください)

)

(元気事業の活用に向けた記入欄)

・

(b) 回答で「(イ) 内容はよく知らない、(ウ) 存在を認識していなかった」とお答えいただいた方は、元気事業への内容理解や元気事業の活用に向けて、どのような工夫が考えられますか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

設問(4)は、全ての地域協議会の委員を対象に伺います。

- (4) 地域協議会で自主的審議事項に取り上げようと議論している時や、既に議論が進行中の時に、地域協議会がその議論に必要な範囲において、住民や団体の皆さん等を参考人（オブザーバー）として議論に加える仕組みの導入について、どのようにお考えですか。（○はひとつ）

- ア 加える仕組みを検討した方がよい →設問(a)へ
イ 加える仕組みを検討する必要はない

（回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です）

（記入欄）

・

- (a) 回答で「(ア) 仕組みを検討した方がよい」とお答えいただいた方は、検討に当たり留意すべき点や提案（アイディア）があればご記入ください。（箇条書きで結構です。）

（記入欄）

・

- ◇ これまでの設問のほか、議論の進め方等について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

（記入欄）

※引き続き、Q4にお進みください。

Q4 議論の結果の地域への貢献について

- (1) あなたが属する地域協議会について、自主的審議での議論の過程や結果において、「地域の団体※との連携や調整などを通じて課題の解消に向けて取り組む」ことは念頭に置かれていませんか。(○はひとつ)

※ 地域の団体：まちづくり団体や町内会、ボランティア(的な)団体など

ア 念頭に置いて進めている(進めた) →設問(a)へ

イ 念頭に置いて進めていない(進めることはなかった) →設問(b)へ

- (a) 回答で「(ア) 念頭に置いて進めている(進めた)」とお答えいただいた方は、どのような連携を考えていましたか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (b) 回答で「(イ) 念頭に置いて進めていない(進めることはなかった)」とお答えいただいた方は、その理由はどのようなものですか。(○はいくつでも)

ア 連携による解決策の取りまとめを想定していなかった

イ 連携等の検討について、地域協議会で議論を主導する委員がいなかった

ウ 連携等の相手先となる地域内の団体等の存在がよく分からなかった

エ 連携等の相手先となる地域内の団体等から協力を得られないと思った

オ その他

(具体的にご記入ください)

)

- (2) 今後、地域協議会で地域の団体等との連携や調整などを通じて課題の解消に向けて取り組むために、どのようなことが必要とお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (3) あなたが属する地域協議会について、議論の結果がどの程度地域に貢献できたとお考えですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------------|----------|
| ア 議論の結果は 地域への貢献ができた | } 設問(a)へ |
| イ 議論の結果は、地域への貢献が一定程度できた | |
| ウ 議論の結果は、地域への貢献があまりできなかった | |
| エ 議論の結果は、地域への貢献ができなかった | |
| オ よく分からない | |

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (a) 回答で「(ウ) 貢献があまりできなかった、(エ) できなかった」とお答えいただいた方は、地域協議会の議論を更に地域で役立てるために、どのような工夫が必要とお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (4) 地域協議会における地域活動支援事業の審査については、地域の目指すべき姿や地域で抱える課題などを踏まえた採択方針に基づき、取り組んでいただいているところです。採択した事業がより一層地域に貢献するために、どのような工夫が考えられますか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (5) 地域活動支援事業は、現在、区の配分額の全額を対象に、提案事業を公募しています。今後、地域協議会の議論の結果がより一層、地域課題の解消や地域の活性化につながるものとする観点から、例えば、地域協議会で話し合った地域課題の解決策を実現するため、地域協議会が直接地域の団体等※と協議・調整を行い、公募によらず区の配分額の一部を活用して事業を実施する仕組みを求める声もあります。

あなたは、このことについてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

※ 地域の団体：まちづくり団体や町内会、ボランティア(的な)団体など

- | |
|---------------------------|
| ア 仕組みの導入に向けて考えてよい →設問(a)へ |
| イ 仕組みの導入に向けて考える必要はない |
| ウ よく分からない |

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (a) 回答で「(ア) 考えてよい」とお答えいただいた方は、検討に当たり留意すべき点や提案(アイディア)があればご記入ください。(箇条書きで結構です。)

(記入欄)

・

- ◇ これまでの設問のほか、議論の結果の地域への貢献について市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

(記入欄)

※引き続き、Q5にお進みください。

Q5 地域協議会委員の人材確保について

- (1) あなたが属する地域協議会について、できるだけ多くの方から地域協議会委員に応募が行われるよう、地域協議会として、活動を住民や地域の団体の皆さんに知っていただく観点から、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------------|----------|
| ア 住民等に知っていただくことができた | } 設問(a)へ |
| イ 住民等に知っていただくことが一定程度できた | |
| ウ 住民等に知っていただくことがあまりできなかった | } 設問(b)へ |
| エ 住民等に知っていただくことができなかった | |
| オ よく分からない | |

- (a) 回答で「(ア) 知っていただくことができた、(イ) 一定程度できた」とお答えいただいた方は、どのような取り組みが活動を知っていただくことにつながったとお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (b) 回答で「(ウ) 知っていただくことがあまりできなかった、(エ) できなかった」とお答えいただいた方は、知っていただくためにはどのような取り組みが必要とお考えですか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (2) あなたの地域協議会委員としての経験から、これからの委員にどのような資質(知識や経験、姿勢など)が必要と考えますか。(箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (3) 地域協議会委員を公募公選制で選ぶことについて、良い点や悪い点・困った点があればご記入ください。(箇条書きで結構です)

① 公募公選で「良かった点」について

(記入欄)

・

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

② 公募公選で「悪かった点・困った点」について

(記入欄)

・

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (4) あなたは委員の任期（4 年間）について、地域協議会委員としての経験を踏まえ、どのようにお考えですか。（○はひとつ）

※ なお、法令により任期は4 年以内と定められています。

ア 同じで良い

イ よりも短くした方がよい →設問(a)へ

ウ よく分からない

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (a) 回答で「(イ) よりも短くした方がよい」とお答えいただいた方にお聞きします。委員の任期は何年程度が適当とお考えですか。(数値をご記入ください。また、理由は箇条書きで結構です)

委員任期は_____年程度がよい。

(年数の理由の記入欄)

・

- (5) あなたが属する地域協議会委員の定数（人数）について、委員の出席率を高め、会議での議論を充実する観点からどのようにお考えですか。（○はひとつ）

ア 今よりも多くした方がよい →設問(a)へ
イ 今と同じで良い
ウ 今よりも少なくした方がよい →設問(a)へ
エ よく分からない

(回答内容の理由を教えてください。箇条書きで結構です)

(記入欄)

・

- (a) 回答で「(ア) 多く、(ウ) 少なくした方がよい」とお答えいただいた方にお聞
きします。委員の定数（人数）は何人数程度が適当とお考えですか。（数値をご記入
ください。また、理由は箇条書きで結構です）

委員定数は_____人程度がよい。

(人数の理由の記入欄)

・

- ◇ これまでの設問のほか、地域協議会委員の人材確保について市に伝えたいことがあ
りましたら、自由にご記入ください。

(記入欄)

その他

- ◇ これまでの設問のほか、地域協議会の制度や運営等に当たり市に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。

(記入欄)

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

地域協議会を所管する総合事務所・まちづくりセンターにご提出くださいますようお願いいたします。